

令和4年 低層住宅の 労働災害発生状況報告書

令和5年 7月

一般社団法人住宅生産団体連合会

はじめに

(一社)住宅生産団体連合会の構成団体の会員企業 246 社(昨年比-31 社)から、労働災害データ及び関係資料をご提供いただき、令和 4 年の低層住宅の労働災害発生状況を把握することが出来ました。ここにご協力を賜りました関係各位に、深く感謝を申し上げます。

厚労省より令和 4 年度の確定値が公表され、それによりますと全労働災害による死亡者数は新型コロナウイルス感染症への罹患によるものを除き 774 人(前年比▲4 人)と過去最少となりました。しかし建設業においては、281 人(前年 278 人)で、前年比 3 人増となり全産業の 36.3%(前年 35.7%)を占めています。また、工事の種類別では、建築工事 117 人と土木工事 108 人で計 225 人となり、建設業全体の 80%を占めています。事故の型別では、「墜落・転落」(前年比 6 人・5.5%増、29 年比 19 人・14.1%減)が多く、「激突され」、「飛来・落下」は、前年比でいずれも増加しました。

さて、ご協力いただいたアンケート調査の結果、(一社)住宅生産団体連合会の構成団体の会員企業の令和 4 年の労働災害発生件数は 326 件(前年比▲62 件)となりました。数年来の増加傾向を抑える形になりましたが、一方で死亡は 4 人(前年・前々年比 3 人増)となりました。これをゼロとすべく、より効果的な取組みをお願い致します。なお、1,000 棟当りの災害発生件数では、新築工事は令和 3 年の 3.04 件から 2.99 件と減少しました。一方、全体の災害発生件数は増改築・リフォーム工事と解体工事の災害発生件数も減少したことから、0.93 件から 0.74 件と減少しました。

災害の型別発生状況では、「墜転落」によるものが、昨年より約 5 ポイント減少しましたが依然として、全体の 42.3%を占めています。また、二番目に多い「切れこすれ」と併せて「転倒」で 32.5%を占めており、増加する高齢な技能者に配慮した職場づくりが、急務と考えられます。作業別では「建方」と「内部造作」で昨年より約 9 ポイント減少は、したものの、全体の 38%を占める結果となり、職種別にみても「大工」の被災が職種全体の 33.4%を占め、一番になっている事に繋がっています。住宅建築における主力職種である「大工」の災害を減少させるため、きめ細やかな取組みが必要です。

令和元年 4 月から、今後の建設業の基盤となる「建設キャリアアップシステム」が

本格的に稼働し、就業実績の蓄積を通じて工事の品質向上、現場の効率化を図るとともに、これらの情報が技能者の適正な能力評価と処遇の実現に活用されます。

建設業が大きく変わろうとしているこの時期に、建設業にとっての困難はこれからも続くであろうと言われています。

当連合会では、「災害ゼロ」「危険ゼロ」「安全先取り」の現場の実現を目指して、昨年に引き続き職場・現場での働き方を見直し、DX（デジタルトランスフォーメーション）活用推進による生産性の向上を図る活動や、建災防の新ヒヤリハット報告の導入などを関係部門と連携して建設業の働き方改革を推進して参ります。関係団体ならびに会員各位の一層のご理解とご協力を賜ります様お願い申し上げます。

令和5年7月
一般社団法人 住宅生産団体連合会
工事CS・安全委員会

1. 労働災害発生状況の調査について

(一社)住宅生産団体連合会の会員団体である下表団体所属の会員企業に対して、休業4日以上の労働災害発生状況について、アンケート調査を実施した(『令和4年低層住宅の労働災害発生状況報告書』42～44頁参照)。令和4年のアンケート報告企業総数は246社であり、過去8年間(平成27～令和4年)を含めた団体別報告企業数推移は表1-1の通りである。

表1-1 アンケート報告企業数推移

所属団体	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
プレハブ建築協会	15社	19社	16社	14社	14社	15社	15社	14社
日本ツーバイフォー建築協会	208社	219社	112社	104社	104社	115社	96社	97社
日本木造住宅産業協会	114社	116社	125社	98社	135社	105社	86社	62社
全国住宅産業協会	94社	71社	71社	56社	30社	42社	32社	22社
全国中小建築工事業団体連合会	92社	52社	66社	32社	0社			
JBN全国工務店協会					3社	5社	46社	49社
輸入住宅産業協会	6社	2社	5社	7社	3社	2社	2社	2社
計	529社	479社	395社	311社	289社	284社	277社	246社

団体別、規模別、新築、増改築・リフォーム、解体工事別の労災件数は、表1-2の通りである。

休業日数4日以上の労災件数	令和4年																		無記入	
	全体									新築工事			増改築・リフォーム工事			解体工事				
	回答社数	完工棟数	割合%	内訳			災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数		
新築件数				増改築・リフォーム工事件数	解体工事															
	246	439,639	100.0	98,393	331,319	9,927	326	100.0	0.74	294	100.0	2.99	26	100.0	0.08	6	100.0	0.60	0	
団体別	プレハブ建築協会	14	279,857	63.7	51,497	223,877	4,483	179	54.9	0.64	164	55.8	3.18	13	50.0	0.06	2	33.3	0.45	0
	日本ツーバイフォー建築協会	97	48,560	11.0	14,928	32,886	746	36	11.0	0.74	30	10.2	2.01	6	23.1	0.18	0	0.0	0.00	0
	日本木造住宅産業協会	62	99,446	22.6	24,583	70,558	4,305	82	25.2	0.82	74	25.2	3.01	5	19.2	0.07	3	50.0	0.70	0
	全国住宅産業協会	22	7,392	1.7	5,914	1,218	260	17	5.2	2.30	17	5.8	2.87	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	JBN全国工務店協会	49	2,977	0.7	288	2,576	113	5	1.5	1.68	2	0.7	6.94	2	7.7	0.78	1	16.7	8.85	0
	輸入住宅産業協会	2	1,407	0.3	1,183	204	20	7	2.1	4.98	7	2.4	5.92	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
規模別	3000棟以上/年	17	397,973	90.5	77,719	311,736	8,518	243	74.5	0.61	221	75.2	2.84	17	65.4	0.05	5	83.3	0.59	0
	1000～2999棟/年	9	16,058	3.7	8,735	6,517	806	30	9.2	1.87	30	10.2	3.43	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	500～999棟/年	16	10,048	2.3	4,587	5,393	68	10	3.1	1.00	9	3.1	1.96	1	3.8	0.19	0	0.0	0.00	0
	100～499棟/年	55	12,071	2.7	5,327	6,328	416	32	9.8	2.65	26	8.8	4.88	5	19.2	0.79	1	16.7	2.40	0
	50～99棟/年	22	1,478	0.3	771	672	35	2	0.6	1.35	2	0.7	2.59	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	49棟以下/年	120	2,011	0.5	1,254	673	84	8	2.5	3.98	5	1.7	3.99	3	11.5	4.46	0	0.0	0.00	0
	その他	7	0	0	0	0	0	1	0.3	-	1	0.3	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0
工法別	木造在来軸組						116	35.6		101	34.4		11	42.3		4	66.7		0	
	ツーバイフォー						33	10.1		29	9.9		4	15.4		0	0.0		0	
	木質プレハブ						38	11.7		38	12.9		0	0.0		0	0.0		0	
	鉄骨在来						0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	
	鉄骨プレハブ						133	40.8		121	41.2		10	38.5		2	33.3		0	
	コンクリート在来						0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	
	コンクリートプレハブ						5	1.5		5	1.7		0	0.0		0	0.0		0	
	その他						1	0.3		0	0.0		1	3.8		0	0.0		0	
	不明						0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	

表1-2 アンケート全体 団体別、規模別の労働災害発生件数(休業日数4日以上)

※(全体の1000棟当たり災害件数) = (全体の労働災害件数) ÷ (新築棟数+増改築・リフォーム棟数+解体工事数) × 1000

※(工事種別の1000棟当たり災害件数) = (各工事の労働災害件数) ÷ (各工事の棟数) × 1000

※規模別の規模は、新築、増改築・リフォーム、解体工事の総和

平成18年調査より各団体の新築完工棟数上位会社（プレハブ建築協会3社、日本ツーバイフォー建築協会3社、日本木造住宅産業協会3社、全国住宅産業協会2社、全国中小建築工事業団体連合会2社（平成30年まで）、JBN2社（令和元年より）、輸入住宅産業協会2社、合計15社）の団体別、規模別、新築、増改築・リフォーム、解体工事別の労災件数の定点観測を行っている。集計結果は、表1-3の通りである。

表1-3 定点観測（団体別、規模別の労働災害発生件数(休業日数4日以上）

令和4年

定点観測		令和4年																	無記入	
		全体							新築工事			増改築・リフォーム工事			解体工事					
		回 答 社 数	完工棟数	割合%	内 訳			災 害 件 数	割 合 %	1000棟 当たり 災害件 数	災 害 件 数	割 合 %	1000棟 当たり 災害件 数	災 害 件 数	割 合 %	1000棟 当たり 災害件 数	災 害 件 数	割 合 %		1000棟 当たり 災害件 数
					新 築 件 数	増改築・ リフォー ム工 事 件 数	解 体 工 事													
団体別	プレハブ建築協会	15	226,239	100.0	52,055	169,614	4,570	179	100.0	0.79	166	100.0	3.19	9	100.0	0.05	4	100.0	0.88	0
	日本ツーバイフォー建築協会	3	177,318	78.4	31,145	145,039	1,134	114	63.7	0.64	107	64.5	3.44	7	77.8	0.05	0	0.0	0.00	0
	日本木造住宅産業協会	3	24,773	10.9	4,658	19,563	552	17	9.5	0.69	15	9.0	3.22	2	22.2	0.10	0	0.0	0.00	0
	全国住宅産業協会	3	19,546	8.6	12,195	4,548	2,803	31	17.3	1.59	28	16.9	2.30	0	0.0	0.00	3	75.0	1.07	0
	JBN全国工務店協会	2	2,887	1.3	2,823	17	47	8	4.5	2.77	8	4.8	2.83	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	輸入住宅産業協会	2	308	0.1	51	243	14	2	1.1	6.49	1	0.6	19.61	0	0.0	0.00	1	25.0	71.43	0
		2	1,407	0.6	1,183	204	20	7	3.9	4.98	7	4.2	5.92	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
規模別	3000棟以上/年	7	217,175	96.0	45,200	168,038	3,937	150	83.8	0.69	138	83.1	3.05	9	100.0	0.05	3	75.0	0.76	0
	1000~2999棟/年	4	7,979	3.5	6,243	1,122	614	22	12.3	2.76	22	13.3	3.52	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	500~999棟/年	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	100~499棟/年	3	1,035	0.5	607	411	17	6	3.4	5.80	5	3.0	8.24	0	0.0	0.00	1	25.0	58.82	0
	50~99棟/年	1	50	0.0	5	43	2	1	0.6	20.00	1	0.6	200.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	49棟以下/年	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0
工法別	木造在来軸組							44	24.6		40	24.1		0	0.0		4	100.0		0
	ツーバイフォー							20	11.2		18	10.8		2	22.2		0	0.0		0
	木質プレハブ							17	9.5		17	10.2		0	0.0		0	0.0		0
	鉄骨在来							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0
	鉄骨プレハブ							98	54.7		91	54.8		7	77.8		0	0.0		0
	コンクリート在来							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0
	コンクリートプレハブ							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0
	その他							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0
	不明							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0

令和3年

定点観測		令和3年																	無記入	
		全体							新築工事			増改築・リフォーム工事			解体工事					
		回 答 社 数	完工棟数	割合%	内 訳			災 害 件 数	割 合 %	1000棟 当たり 災害件 数	災 害 件 数	割 合 %	1000棟 当たり 災害件 数	災 害 件 数	割 合 %	1000棟 当たり 災害件 数	災 害 件 数	割 合 %		1000棟 当たり 災害件 数
					新 築 件 数	増改築・ リフォー ム工 事 件 数	解 体 工 事													
団体別	プレハブ建築協会	15	246,070	100.0	68,421	172,546	5,103	236	100.0	0.96	221	100.0	3.23	11	100.0	0.06	4	100.0	0.78	0
	日本ツーバイフォー建築協会	3	179,907	73.1	32,793	146,207	907	108	45.8	0.60	97	43.9	2.96	9	81.8	0.06	2	50.0	2.21	0
	日本木造住宅産業協会	3	27,178	11.0	5,092	21,515	571	22	9.3	0.81	20	9.0	3.93	2	18.2	0.09	0	0.0	0.00	0
	全国住宅産業協会	3	29,445	12.0	24,192	1,851	3,402	91	38.6	3.09	89	40.3	3.68	0	0.0	0.00	2	50.0	0.59	0
	JBN全国工務店協会	2	6,554	2.7	4,627	1,923	4	10	4.2	1.53	10	4.5	2.16	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	輸入住宅産業協会	2	459	0.2	459	0	0	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
		2	2,527	1.0	1,258	1,050	219	5	2.1	1.98	5	2.3	3.97	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
規模別	3000棟以上/年	9	238,164	96.8	64,239	169,573	4,352	221	93.6	0.93	206	93.2	3.21	11	100.0	0.06	4	100.0	0.92	0
	1000~2999棟/年	5	7,775	3.2	4,051	2,973	751	15	6.4	1.93	15	6.8	3.70	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	500~999棟/年	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	100~499棟/年	1	131	0.1	131	0	0	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	50~99棟/年	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	49棟以下/年	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0
工法別	木造在来軸組							104	44.1		102	46.2		0	0.0		2	50.0		0
	ツーバイフォー							23	9.7		21	9.5		2	18.2		0	0.0		0
	木質プレハブ							17	7.2		17	7.7		0	0.0		0	0.0		0
	鉄骨在来							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0
	鉄骨プレハブ							92	39.0		81	36.7		9	81.8		2	50.0		0
	コンクリート在来							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0
	コンクリートプレハブ							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0
	その他							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0
	不明							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0

2. 完工棟数と労働災害発生件数の推移

令和4年の調査概要は、調査企業数 246 社（前年より－31 社）、完工棟数（新築）98,393 棟（前年比 83%）、（増改築・リフォーム）331,319 棟（前年比 116%）、（解体）9,927 棟（前年比 85%）、労働災害件数は 326 件（前年より－62 件）である。（表 2－1 参照）

労働災害発生件数（絶対数）（図 2－1）を見ると、全体では完工棟数が前年比 106%と増加の中、前年比 84%の減少となった。内訳は新築工事で前年比 81%の減少、増改築・リフォーム工事で前年比 137%の増加、解体工事で前年と同数となった。また、労働災害発生件数（1000 棟当たり）（図 2－2）を見ると、全体では前年比 80%の減少となった。内訳は新築工事で前年比 98%の減少、増改築・リフォーム工事で前年比 114%の増加、昨年大きく減少した解体工事で前年比 115%の増加となった。全体では減少しているものの、新築工事での減少幅は小さく、同工事での更なる効果的な取組みが必要である。

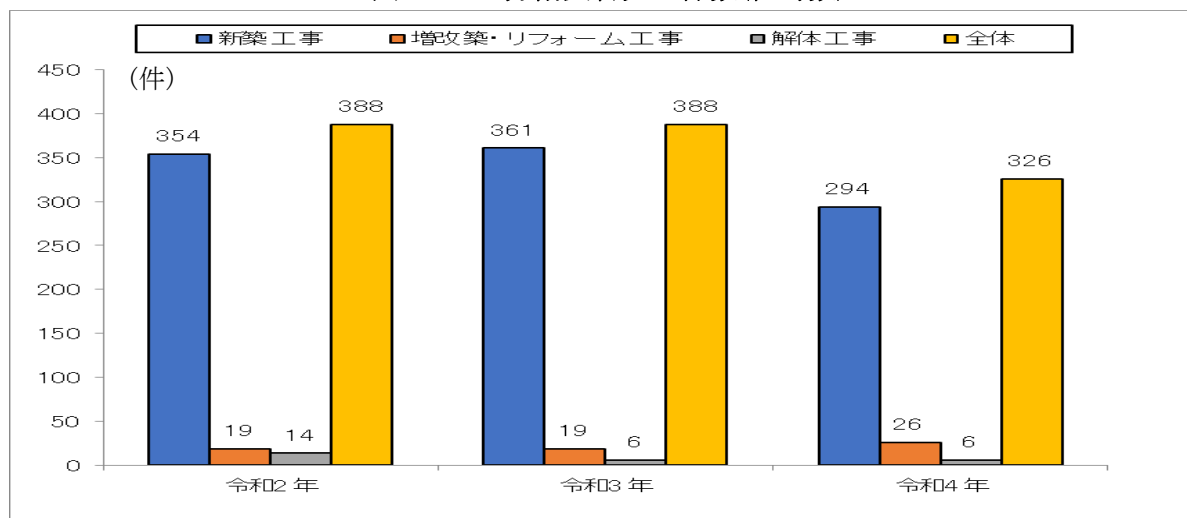
労働災害を少しでも削減し、現場に従事する関係者一人ひとりが安全で健康に働くことが出来る現場環境を築くためには、労働安全衛生関係法令を遵守し、自主的な安全活動の推進と現場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着が必要である。

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
調査企業数	529社	479社	395社	311社	289社	284社	277社	246社
完工棟数	新築	159,284	203,207	146,112	138,977	140,144	131,437	118,596
	増改築・リフォーム	315,261	370,901	303,155	378,576	355,026	250,085	285,409
	解体	14,609	11,061	8,612	15,470	9,402	8,774	11,628
災害件数	428	487	374	392	456	388	388	326

表 2－1 調査企業数・完工棟数・労働災害件数推移

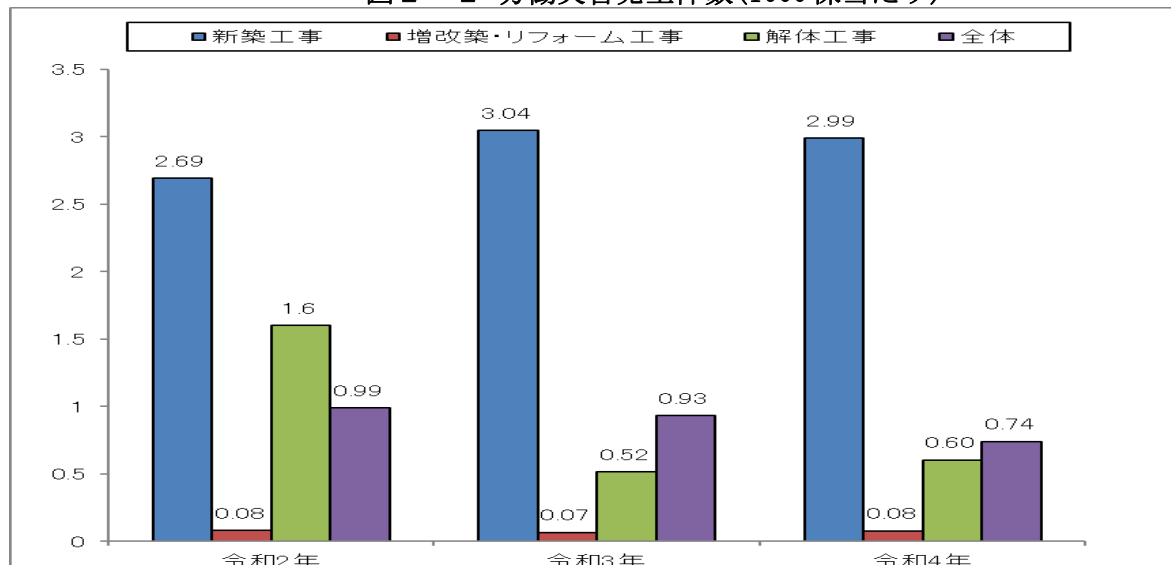
注) 災害件数は休業 4 日以上の災害で、一人親方、事業主等を含む。

図 2－1 労働災害発生件数(絶対数)



※全体には工事種不明の発生件数を含む。工事種不明件数は 2 年が 1 件、3 年が 2 件、4 年が 0 件

図 2－2 労働災害発生件数(1000 棟当たり)



※(労働災害件数) ÷ (新築棟数+増改築・リフォーム棟数+解体工事数) × 1000

労働災害発生状況を企業規模別に見るため、アンケート報告企業を年間完工棟数に応じて表2-2のように分類した。

表2-2 規模別企業数推移

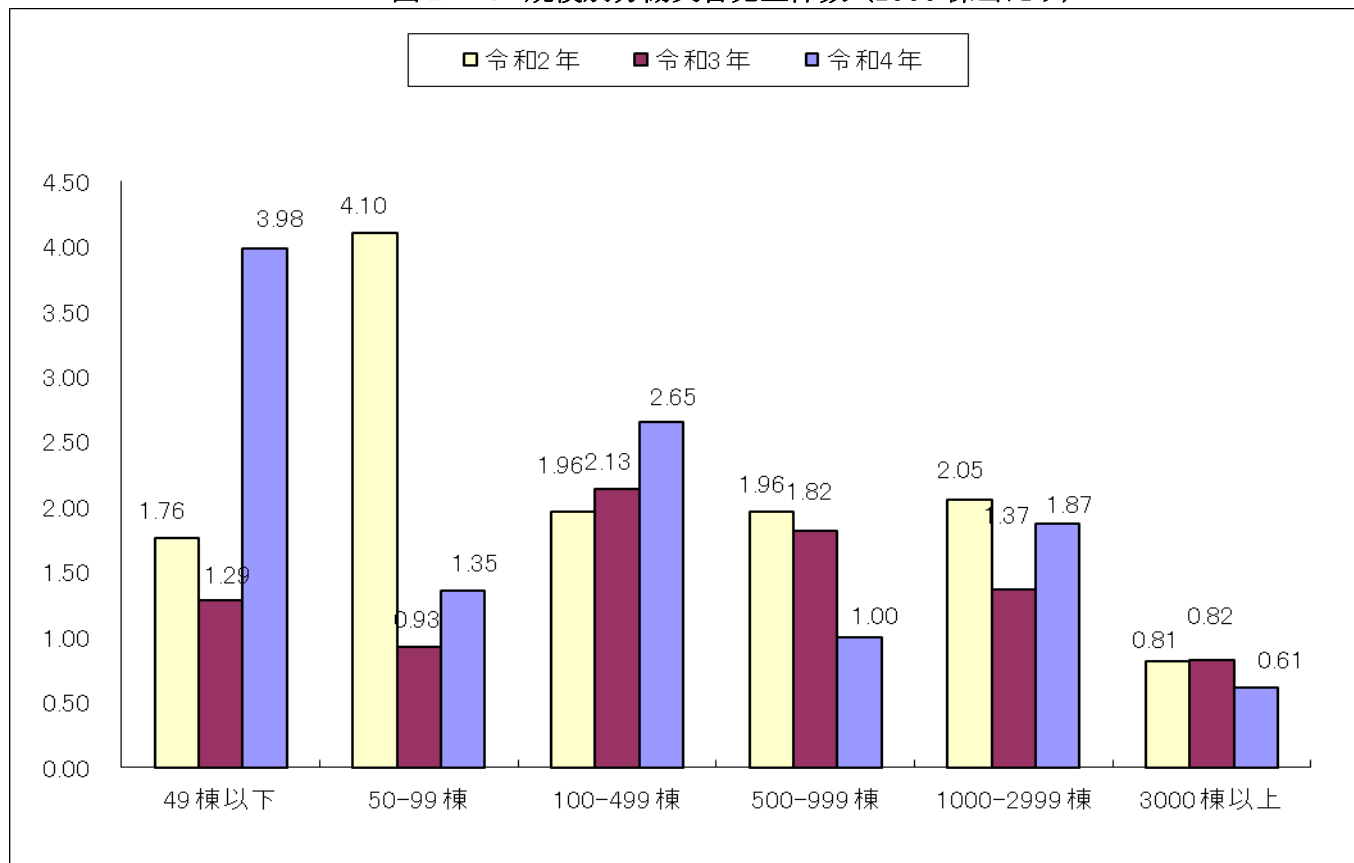
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
年間完工3000棟以上	23社	21社	18社	19社	25社	17社	18社	17社
1000～2999棟	16社	25社	17社	14社	9社	15社	11社	9社
500～999	28社	22社	22社	14社	20社	17社	24社	16社
100～499	95社	104社	80社	64社	68社	66社	59社	55社
50～99	60社	64社	55社	35社	39社	31社	30社	22社
49棟以下	299社	243社	203社	165社	128社	138社	135社	120社
規模不明・その他	8社	0社	0社	0社	0社	0社	0社	7社
計	529社	479社	395社	311社	289社	284社	277社	246社

※年間完工棟数は、新築、増改築・リフォーム、解体工事の合計

令和4年の1,000棟当たりの規模別労働災害発生件数は、図2-3のとおりである。全体としては、減少（令和2年0.99、令和3年0.93、令和4年0.74）となっている。全体減少の要因としては『3,000棟以上』のレンジで減少したことが全体に大きく影響している。各レンジにおいては、『49棟以下』は増加し、『100-499棟』『1,000-2,999棟』『50-99棟』は微増となった。また、『3,000棟以上』『500棟-999棟』においては減少している。

当該調査における完工棟数の推移は表2-3のとおりである。（完工棟数は新築工事の減少を増改築・リフォーム工事の増加が補う形で増加となっている）また、『3,000棟以上』の完工棟数は増加したが、それ以外のレンジでは完工棟数が減少している。『3,000棟以上』の調査回答者数が17社で全体246社の6.9%程度にもかかわらず、完工棟数は全体の91%を占めている為、全体に対する影響は大きい。労働災害発生件数は、『3,000棟以上』と『500-999棟』で前年比22%減となり、一方、『100-499棟』と『1,000棟-2,999棟』の完工棟数は全体の6.4%程度で労働災害発生件数が前年比5%増だが、労働災害発生率は全体326件中62件で19%を占めている。全体の1,000棟当たりの労働災害件数を減らすうえでは、完工棟数が減少しているレンジの労働災害発生件数の推移が重要であり、全体に影響を与えることになる。

図2-3 規模別労働災害発生件数（1000棟当たり）



※(各棟数エリアの労働災害発生件数) ÷ [各棟数エリアの(新築棟数+増改築・リフォーム棟数+解体工事数)] × 1000

表 2 - 3 規模別完工棟数 及び 労働災害発生件数推移

	完工棟数						災害発生件数						
	令和2年	令和3年	令和4年				令和2年	令和3年	令和4年				
			新築工事	増改築・リフォーム工事	解体工事	合計			新築工事	増改築・リフォーム工事	解体工事	無記入	合計
年間完工3000棟以上	332,894	361,842	77,719	311,736	8,518	397,973	269	298	221	17	5	0	243
1000～2999棟	24,929	20,467	8,735	6,517	806	16,058	51	28	30	0	0	0	30
500～999	11,715	14,309	4,587	5,393	68	10,048	23	26	9	1	0	0	10
100～499	16,286	14,521	5,327	6,328	416	12,071	32	31	26	5	1	0	32
50～99	2,196	2,161	771	672	35	1,478	9	2	2	0	0	0	2
49棟以下	2,276	2,333	1,254	673	84	2,011	4	3	5	3	0	0	8
規模不明・その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
計	390,296	415,633	98,393	331,319	9,927	439,639	388	388	294	26	6	0	326

※規模分けは、新築、増改築・リフォーム、解体工事の合計による。

図 2 - 4 規模別完工棟数比率
令和 2 年

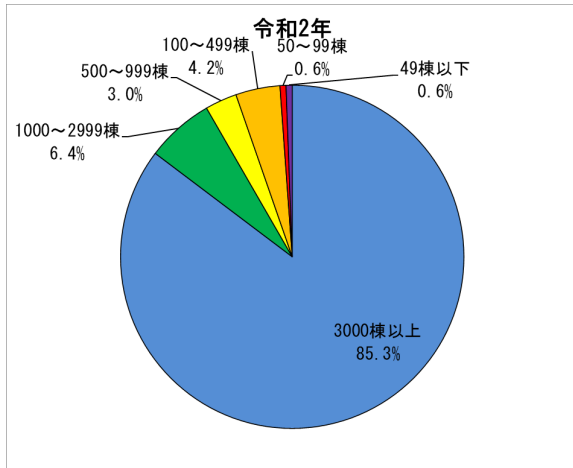
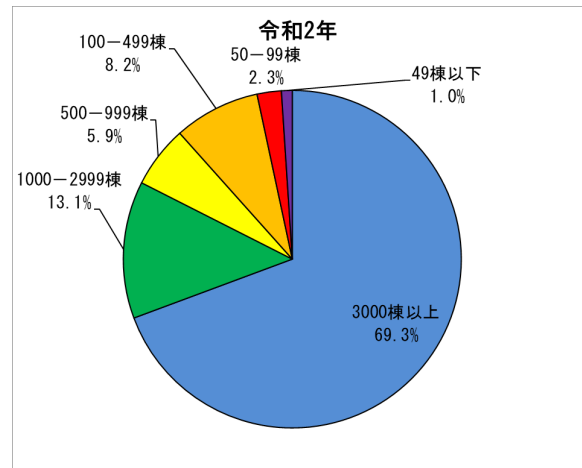
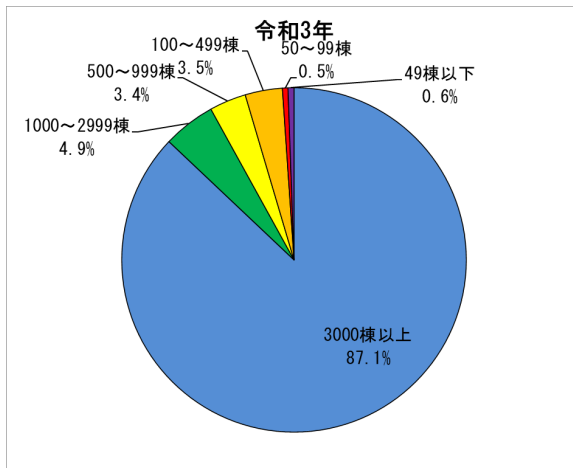


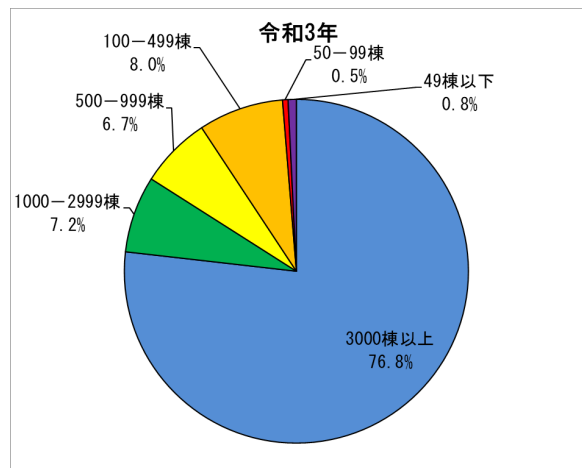
図 2 - 5 規模別労働災害発生率
令和 2 年



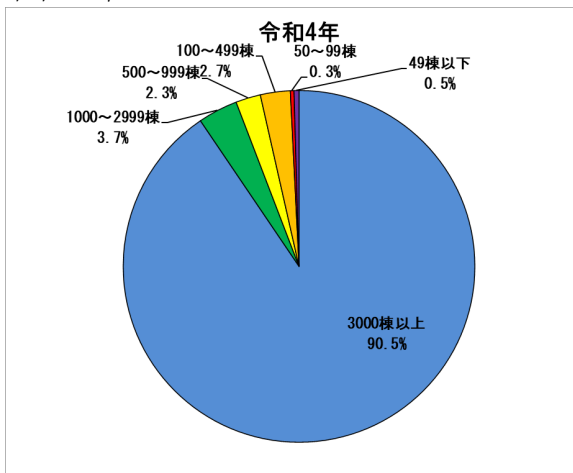
令和 3 年



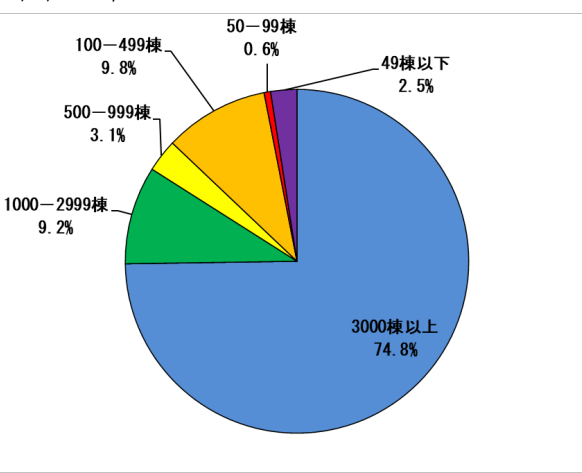
令和 3 年



令和 4 年



令和 4 年



3. 作業分類別労働災害発生状況

令和4年においては、建方工事および内部造作工事の災害発生比率が若干減少したが、外構工事で顕著な増加に転じ、外装、内装、設備でも増加している。

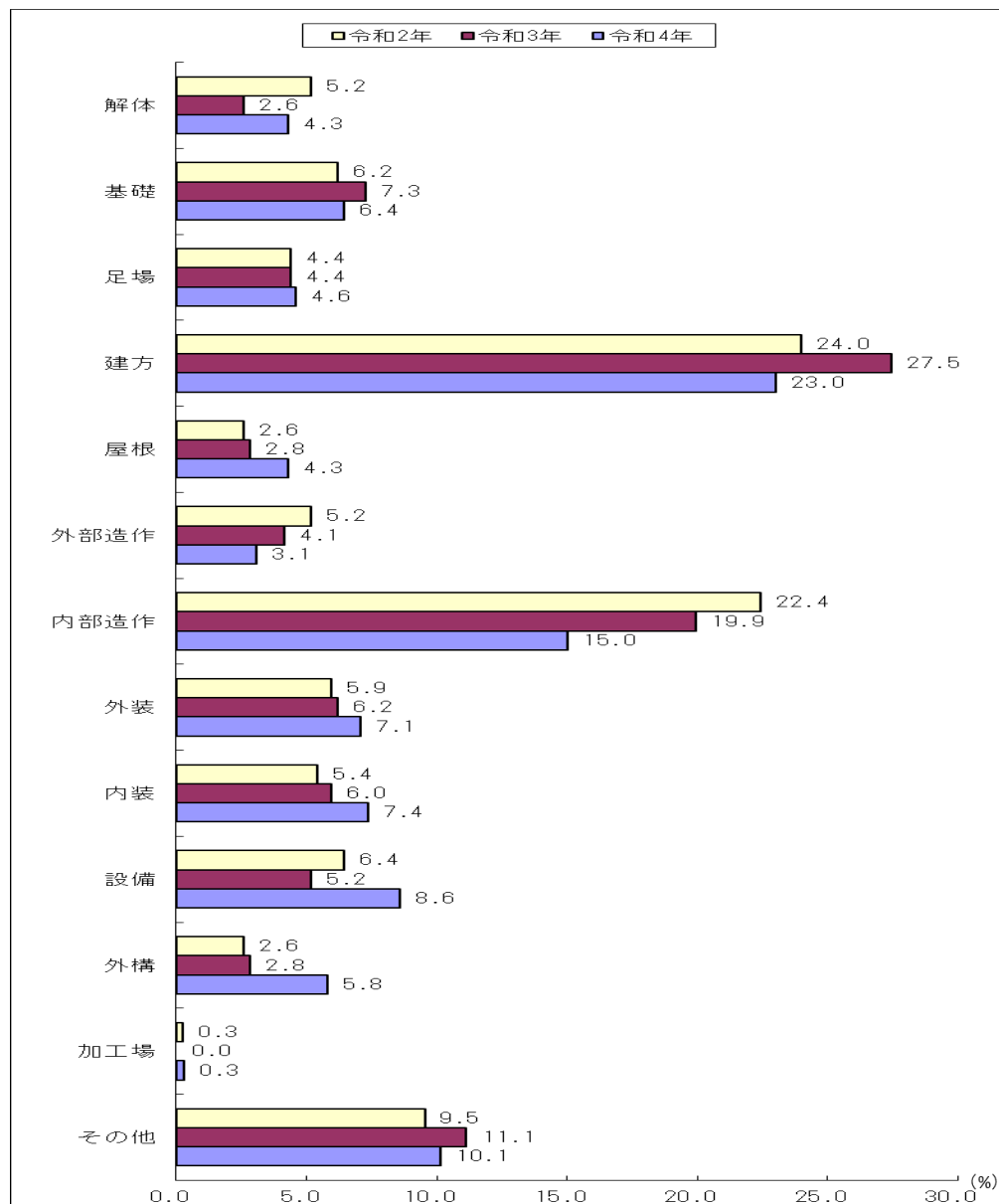
しかし建方と内部造作で全体の約4割の事故発生となっており、重点的かつ恒久的な改善が急務となっている。

建方作業においては、フルハーネス型安全帯着用など基本動作の徹底と足場設置基準遵守などの作業環境の整備がより重要となってくる。

また、内部造作は脚立が使われることが多いが、手軽に扱えるということと高所作業ではないという油断から不安全行動を誘発しやすい環境にあるため、天板上での作業禁止はもちろん、昇降における正しい使い方等を遵守させなければならない。

あわせて電動工具については定期点検の履行はもちろん、日々の作業開始前・作業終了後の点検並びに作業手順の周知・理解を徹底させることが肝要である。

図3. 作業分類別労働災害発生状況



※ その他の発生内訳：荷揚、雑工、美装、基礎補強、資材搬入など。

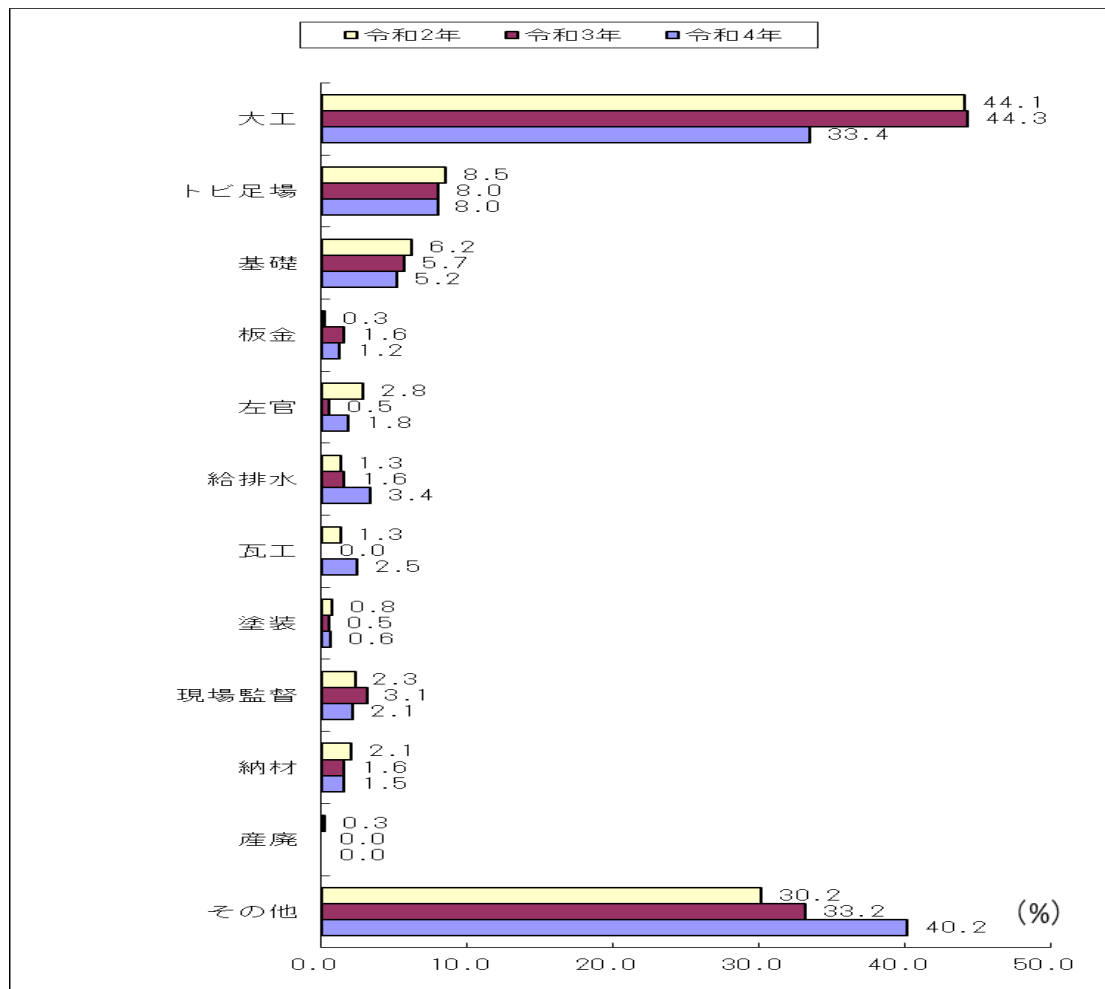
4. 職種分類別労働災害発生状況

令和4年度の職種分類別労働災害発生状況は、「大工」の労働災害が昨年度に比べ11ポイント減少し、「その他」の職種の労働災害が7ポイント増加した。現場での作業時間が最も長い「大工」が、例年同様に全職種中、最も高い発生割合であることは変わっていない。また、「大工」においては、職人の高齢化が進んでいる職種であり、労働災害発生は高齢化による身体の衰えの影響もある。住宅の小規模現場の災害発生頻度の最も多い墜転落災害の中で、災害リスクの高い職種としては、脚立を多く利用する職種である「大工」や、足場等高所での作業が必要な「とび足場」といった職種に災害が多くなっている。その上、様々な電動工具や鋭利な刃物を使用する作業が多い「大工」では、工具による災害も後を絶たない状況である。

「その他」の職種では、全体の4割を超える災害が発生しており、近年労働災害増加が顕著となっている。その中で、特に「荷揚げ工」の労働災害が増加している。「荷揚げ工」においては、材料の運搬中の転倒災害や材料の落下による殺傷災害が目立っている。搬入路のつまずき易い障害物や無理な体制での作業等が労働災害につながりやすいので、現場管理者は注意が必要である。各現場の現場管理者は、資材搬入時の安全通路や効率的な資材置き場の確保等に配慮するとともに、常日頃から現場の整理整頓や足場掛状況の確認等の基本的な安全管理を徹底する必要がある。

また、屋外での作業が多い職種である「とび足場」・「基礎」・「外構工」や、閉所で高温多湿な環境で作業をする「大工」「給排水」等といった職種では、近年、熱中症の発症が顕著になっている。熱中症については、全ての職種で発症リスクになるので、天候を考慮した具体的な事前対策を強力に推進していく必要がある。

図4. 職種分類別労働災害発生状況



※その他の職種：荷揚げ工、外構工、雑工、美装、防水工、土工など。

5. 原因・型別労働災害発生状況

原因・型別労働災害発生状況は、依然として「墜転落」(42.3%)が最も多く発生しており、続いて「工具(切れ・こすれ)」(16.9%)、「転倒」(15.6%)の順となっている。なかでも昨年は「転倒」による事故が急増し、前記3項目で全体の約3/4を占めている。

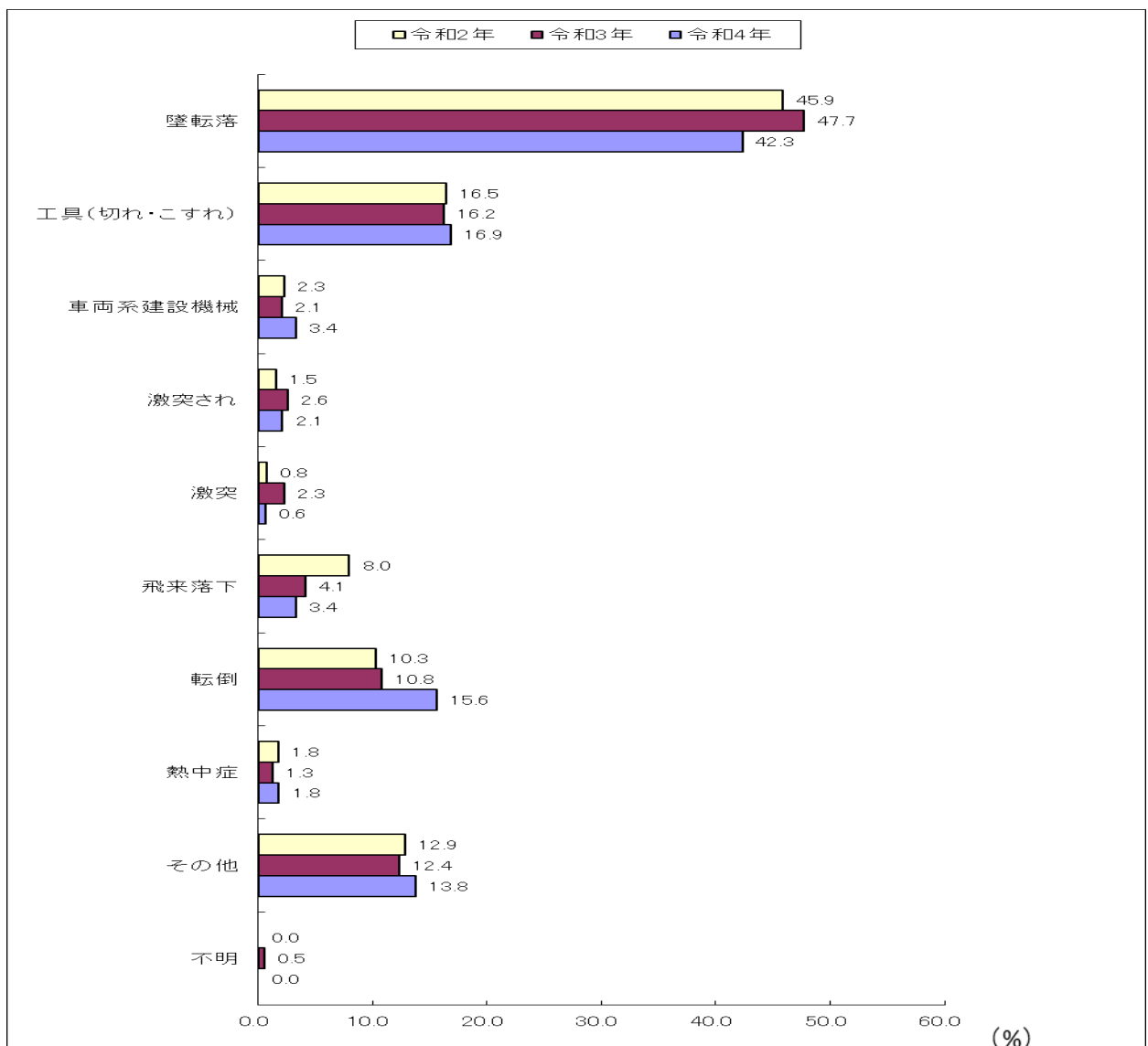
墜転落の内訳では、屋根からの転落は減少してきているが、一昨年急増した「足場」からの転落は、一昨年比では減ったものの、それ以前との比較では依然として増加傾向であることが気になる点である。ハーネス型に乗り移り完了した状況ではあるが、高所からの墜転落災害は重大災害に繋がる危険性が非常に高いので、引続き作業には墜落制止用器具を着用させ、確実に「使用する」様、繰り返し指導しなければならない。又、「脚立」からの災害も急増し全体の1/3以上を占めた。実態を把握したうえで、繰り返しの教育、職長による作業への目配りが重要となる。

工具による「切れ・こすれ」の内訳では、「丸鋸」、「釘打ち機」、「カッター」の順に事故が多く発生しており、合計で全体の6割以上(61.9%)を占めている。「丸鋸」による事故が近年増加傾向にあることと、「カッター」による事故が急増した事が気になる点である。「回転工具(丸鋸・グラインダ)」においてはキックバック防止機構付き工具の導入の検討、「カッター」による事故においては耐切削手袋の着用等を検討することも急務である。

車両系建設機械では、「クレーン」、「ユニック」による事故が増加傾向にあり、共に対前年比約1.5倍となった。重大事故に繋がる危険性が高いので引き続き注視していく必要がある。

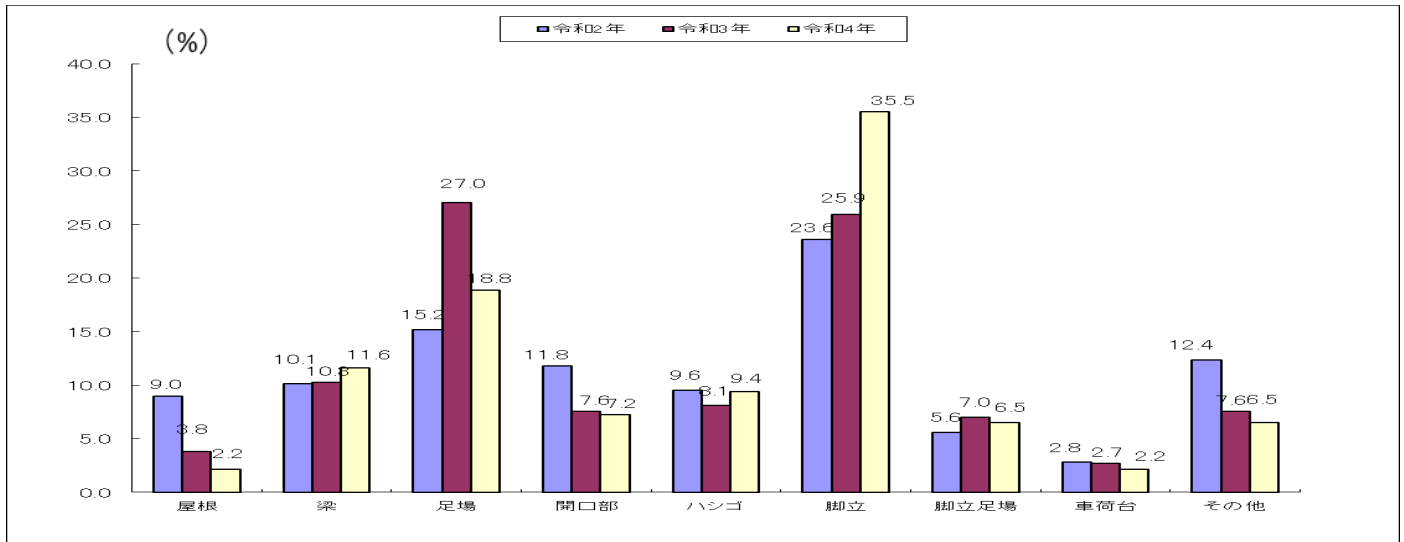
近年増加傾向にある「熱中症」については、今年度も引き続き暑熱順化による対応や、WBGT値に基づいた効果的な熱中症対策が求められる。

図5. 原因・型別労働災害発生状況



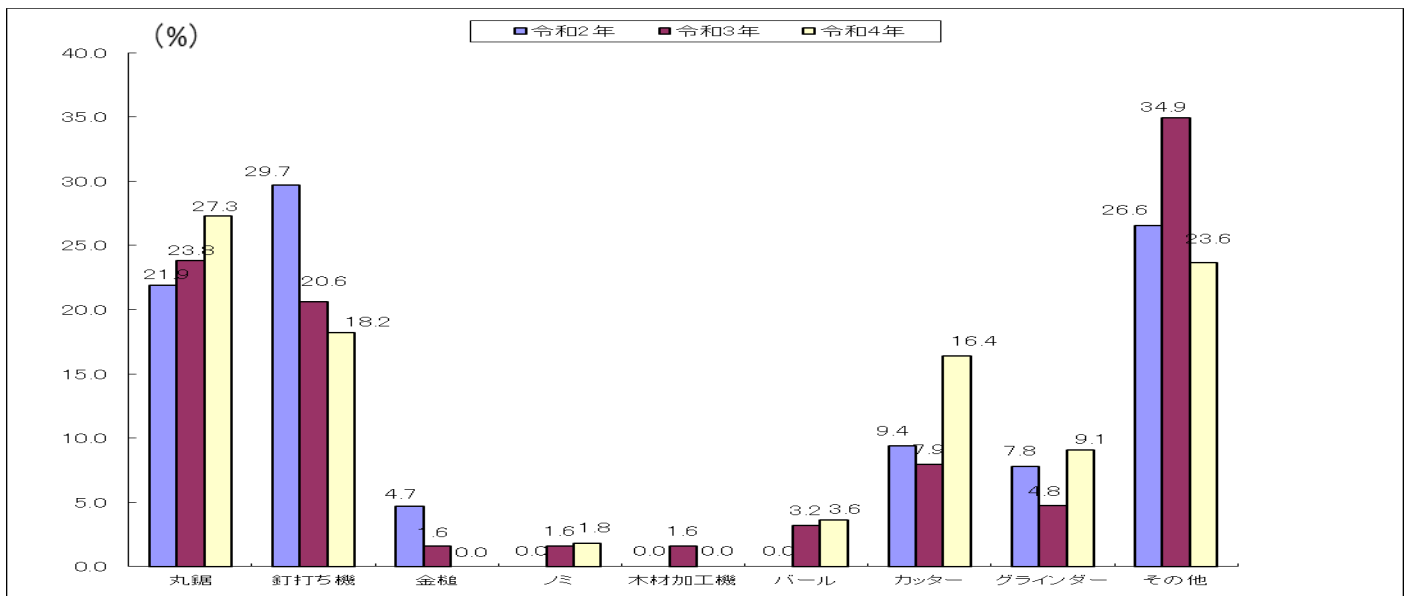
※その他の発生内訳：挟まれ、動作の反動・無理な動作など。

図 5-1 原因・型別労災発生状況（墜転落の内訳）



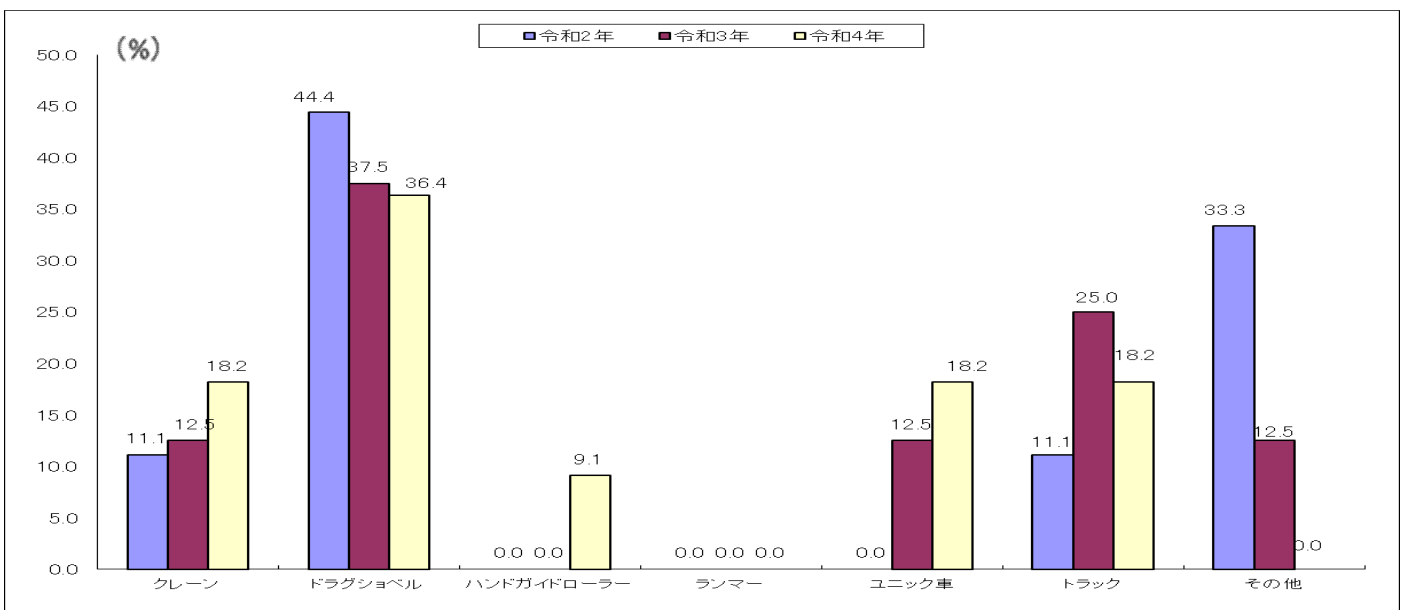
※その他の発生内訳：階段、可搬式作業台、屋内本階段など。

図 5-2 原因・型別労災発生状況（工具「切れ・こすれ」の内訳）



※その他の発生内訳：鉄筋、パテベラ、材料、システムキッチンなど。

図 5-3 原因・型別労災発生状況（車両系建設機械の内訳）



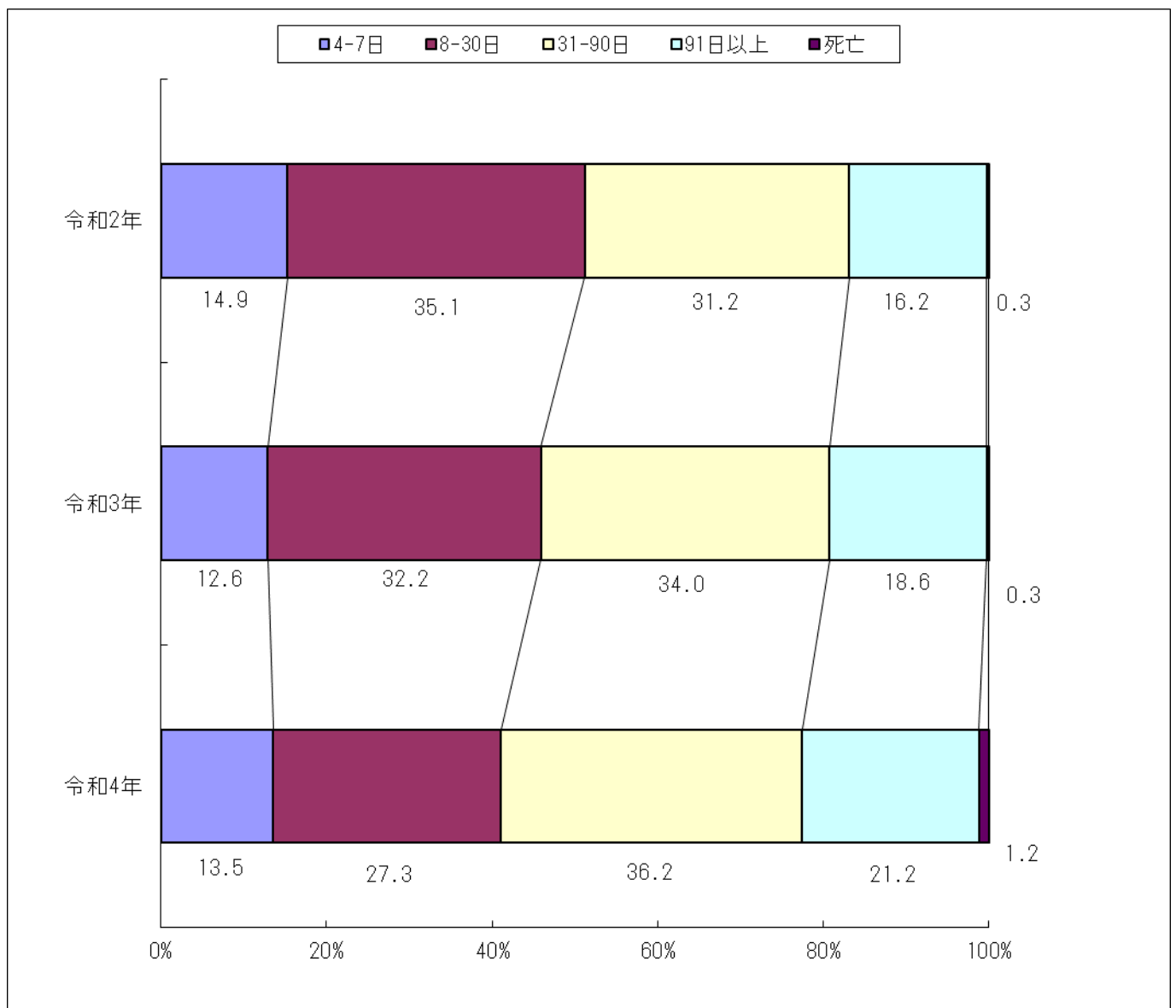
※その他の発生内訳：R4年はその他の該当なし

6. 休業日数別労働災害発生状況

労働災害の休業日数について、直近3年間で休業31日以上の割合が急激に増加しており、特に令和4年には複数の死亡事故が発生している点が大きな課題である。(内訳：転落2件(サイディング工・雑工)、熱中症1件(キッチン工)、部材倒壊1件(左官工))

とりわけ重大な災害につながる『墜転落』『電動工具』『車両系建設機械』『熱中症』について、元請業者・事業主が協力して労働者に災害防止の重要性について常に自覚を持つように、繰り返して安全衛生教育を実施しなければならない。

図6 休業日数別労働災害発生状況



7. 雇用形態別労働災害発生状況

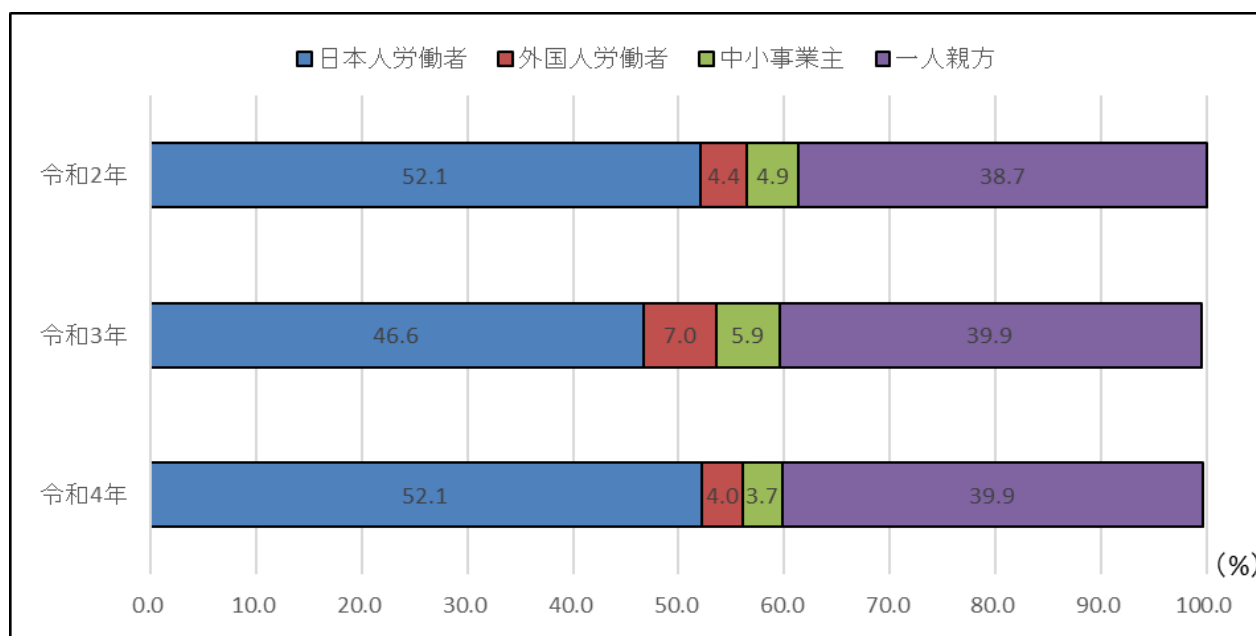
雇用形態別の割合を令和3年と比較すると、労働者（日本人と外国人の合計）+2.5%、事業主▲2.2%、一人親方±0.0%となっており、「労働者」が増加した一方、「事業主」は減少した。

今後も、指導・教育する中心的な立場である「事業主」には、労働安全衛生に対する意識をより一層高めることが求められ、「一人親方」も含めた労働者への具体的な対応としては、安全衛生に係わる必要な知識・資格の習得・取得、災害未然防止安全活動の継続的な実施が挙げられる。

また、「一人親方」に対しては、万が一の災害補償対策として「労災保険特別加入制度」等への加入促進も引き続き必要となる。

尚、外国人労働者に関する動向については、引き続き注視してゆく。

図7 雇用形態別労働災害発生状況



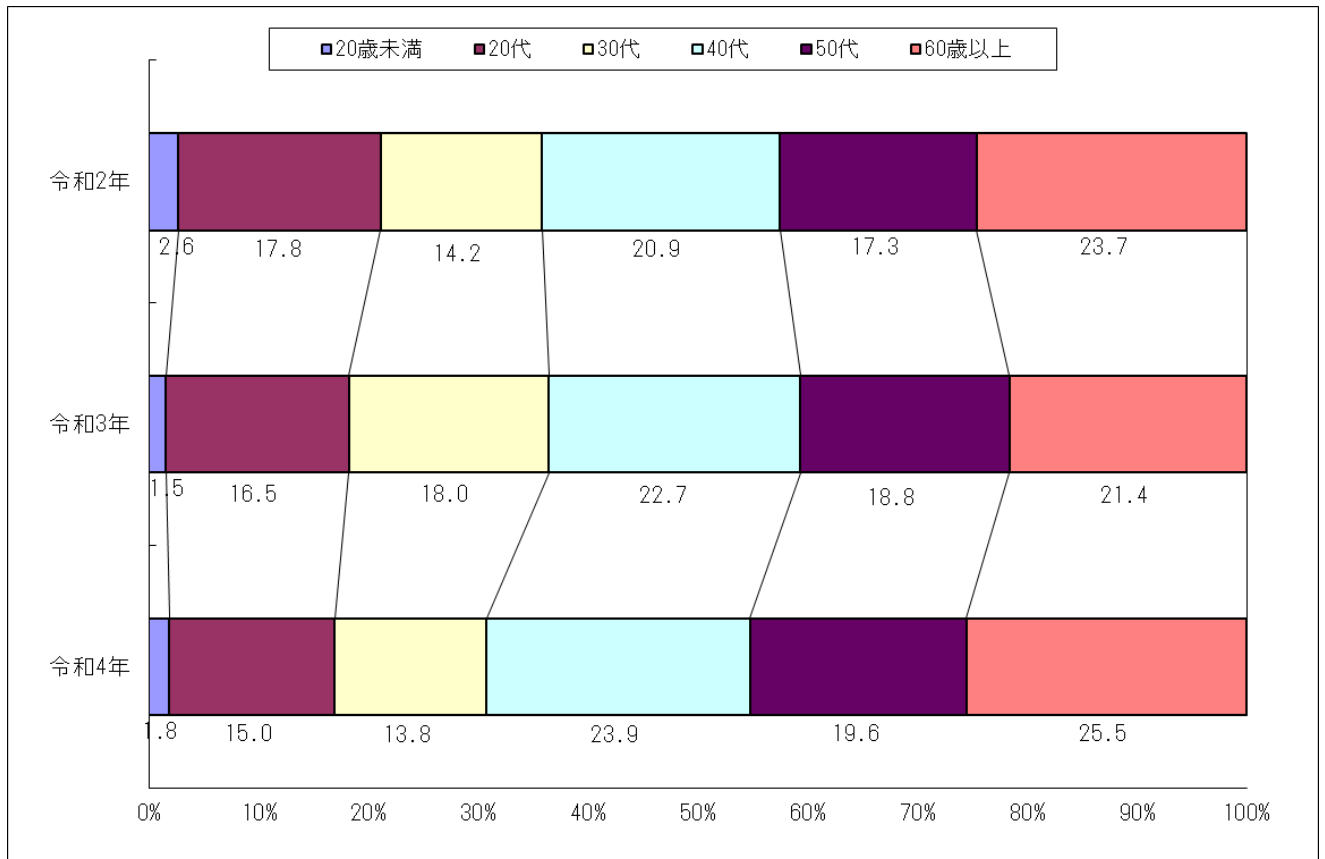
※不明が令和2年は0件、令和3年は2件、令和4年は1件。

8. 年齢層別労働災害発生状況

令和4年は、令和3年に比べ40歳代から60歳以上で増加し、他の年代層では減少の傾向が見られた。令和4年全体で見ると60歳以上の割合が25.5%となり大きな割合を占める事となり、前年より4.1%も大きく増加している。50歳代も前年より0.8%の増加傾向がみられ高齢者の割合が増加している。今後も低層住宅工事に携わる高齢化と、若い外国人労働者の増加が予想されるため、高齢層を含めた低年齢層の災害発生比率の増加が懸念される。また、原因・型別労働災害発生状況では墜転落が最も高い割合を占めているため、労働災害防止に対して、安全衛生責任者（推進者を含む）および現場の管理・監督者は、現場巡視による日々の健康状態の把握をおこなうと共に、特に建て方作業や高所作業における適正配置を考慮し、正しい作業手順が確実に実施されているか確認し、危険の芽をいち早く摘むことが必要である。

また、特に被災者の多い中・高齢者作業者に対する新規入場者教育・送り出し教育を確実に実施し、職長・安全衛生責任者教育、能力向上教育など安全衛生教育を継続的かつ、定期的を実施することによって更なる安全に対する意識を高めていくことが重要である。

図8 年齢層別労働災害発生状況



9. 月別・曜日別・時間別 労働災害発生状況

月別の労働災害発生状況（図9-1）は、冬期の12月～3月と熱中症の影響が顕著となる6月～8月において発生率が高く、比較的作業に適した気候である4月～5月及び9月～11月においては低減が認められる。冬季における保温並びに準備運動などの寒冷対策について注意喚起を図るとともに、6月頃からの急激な気温・湿度の上昇に伴う熱中症対策として、適時に正確なWBGT値（暑さ指数）を確認するための計器の設置をはじめ、給水・塩分補給等の配慮、空調服の導入、遮光およびミスト散布などの一層の充実に加えて、体温変化を常時把握し注意喚起を促すウェアブル端末等の導入が望まれる。

曜日別（図9-2）の発生状況に関しては、総じて月曜日～金曜日の平日において高い発生率を示しており、令和4年においても火曜日、木曜日、金曜日において19%台と集中している。引き続き作業環境の変化に対応する適切なKY活動の実施に加えて、週半ば以降においては疲労の蓄積による集中力の低下を招かないよう、無理のない作業計画の立案・実行が求められる。

時間帯別（図9-3）では午前中の9時台、10時台、11時台にかけての発生率が最も高く、次いで午後14時台、15時台、16時台に比較的高い発生率を示す傾向が継続している。

上記より、午前はもとより、午後においても作業開始前のKY活動を励行し注意喚起を図るとともに、労働の継続による疲労の蓄積や気候条件に応じて適時の休憩を取得するなどの安全対策について、継続的に安全衛生教育を実施しなければならない。

図9-1. 月別 労働災害発生状況

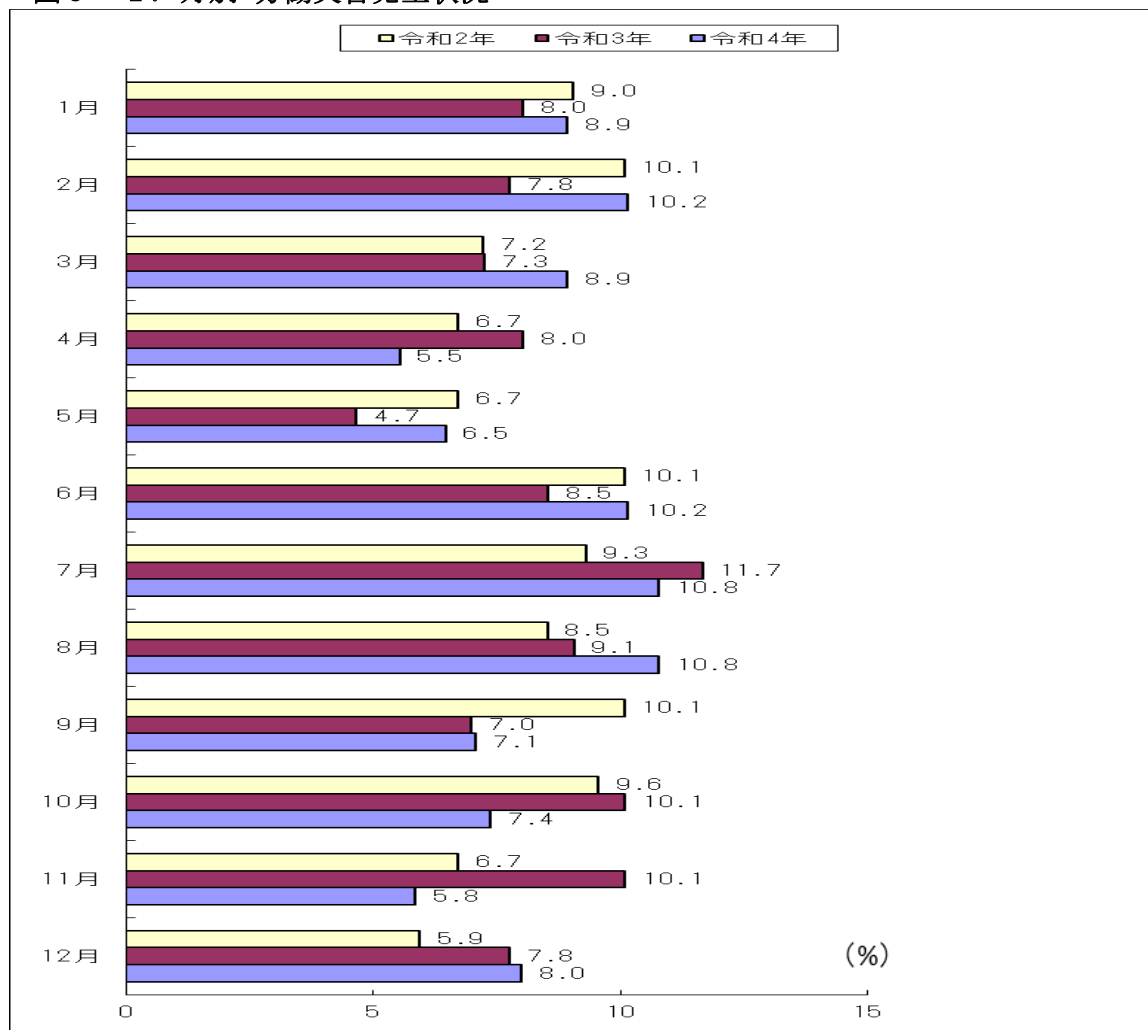


図9-2 曜日別 労働災害発生状況

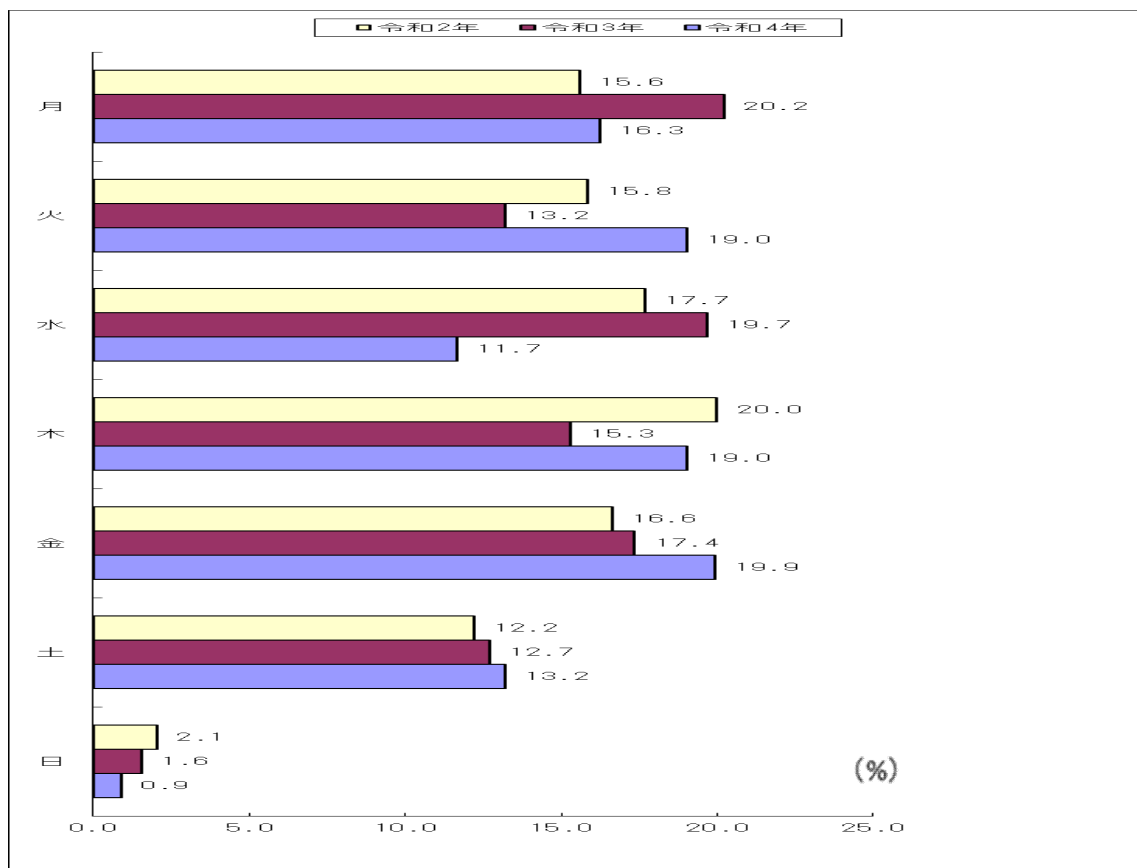
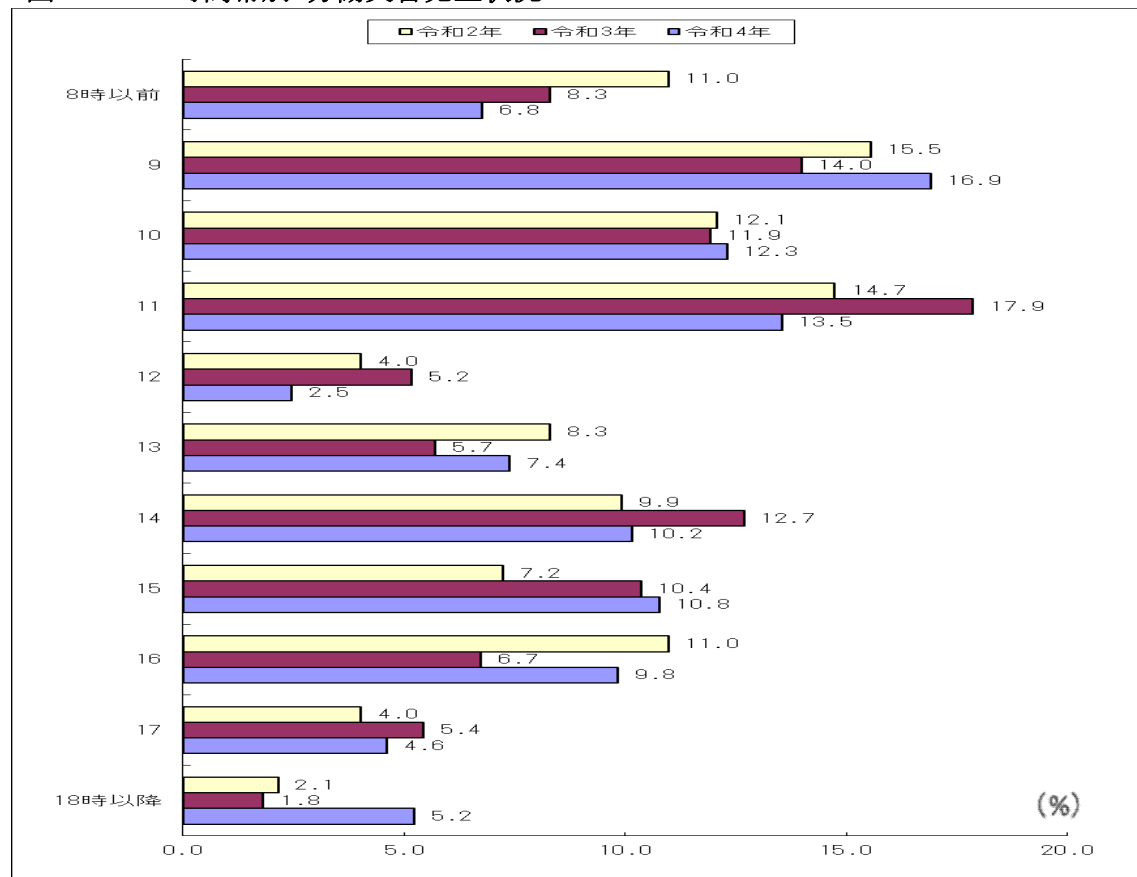


図9-3 時間帯別 労働災害発生状況



令和4年 労働災害発生状況

作業分類の「その他」(13)に対する回答 (図3)

- ・美装(4件)
- ・車への積み込み
- ・基礎補強(4件)
- ・防水(2件)
- ・型枠
- ・産廃小運搬
- ・運送
- ・事務所
- ・施工管理
- ・現場管理(2件)
- ・プレキャストコンクリートパネル製造作業
- ・検査(2件)
- ・道具の積み込み
- ・仮設(2件)
- ・土工(2件)
- ・瓦養生作業
- ・仮樋取付作業
- ・地下室工事
- ・土台敷
- ・運搬
- ・荷揚(8件)
- ・片付け
- ・サッシ調整
- ・雑工(6件)
- ・電気配線工事(2件)
- ・インテリア工事
- ・交通事故、業務災害
- ・資材搬入(4件)
- ・現場管理、検査

職種分類の「その他」(26)に対する回答 (図4)

- ・重機(2件)
- ・ポンプ
- ・事業主
- ・外構工(10件)
- ・防水工(4件)
- ・外壁
- ・インテリア工事
- ・防蟻
- ・アスファルト補装(2件)
- ・コンクリート圧送車 補助作業員
- ・プレキャストコンクリートパネル製造作業
- ・記載なし
- ・雑工(7件)
- ・界壁
- ・基礎補強(3件)
- ・サッシ(2件)
- ・土工(4件)
- ・資材搬入(2件)
- ・雨樋取付け(2件)
- ・荷揚げ工(25件)
- ・型枠運搬
- ・美装(4件)
- ・仮設工(2件)
- ・キッチン(3件)
- ・型枠(2件)
- ・太陽光パネル設置
- ・配送(3件)

災害分類/墜転落の「その他」(19)に対する回答 (図5-1)

- ・ブロック上
- ・可搬式作業台(3件)
- ・資材より落下
- ・敷きこみ作業中の2階床
- ・屋内本階段(2件)
- ・道板
- ・階段(3件)
- ・荷揚げされた吊荷

災害分類/切れ・こすれの「その他」(29)に対する回答 (図5-2)

- ・スラット
- ・コアドリル
- ・足場筋交い
- ・材料(2件)
- ・UBの床下地鉄板
- ・軽天
- ・木槌
- ・RC鉄筋に引っ掛かり切創
- ・割れた瓦で手の甲を切創
- ・インパクトドライバー
- ・足場の端部に頭をぶつけた
- ・ブラケット材
- ・パテベラ(2件)
- ・ガラス片
- ・荷揚げ機
- ・仮筋交いの角
- ・軸組組み方作業時
- ・防水鋼板
- ・釘
- ・鉄筋(3件)
- ・はさみ込み
- ・システムキッチン(2件)
- ・除雪機のプロペラ

災害分類/車両系建設機械の「その他」(36)に対する回答 (図5-3)

該当なし

災害分類/「その他」(90)に対する回答 (図5)

- ・火傷
- ・火災
- ・当たる
- ・捻る(3件)
- ・交通事故、業務災害
- ・突き指
- ・有害物等との接触(3件)
- ・はさまれ・巻き込まれ(5件)
- ・動作の反動・無理な動作(8件)
- ・資材運搬時の疲労骨折
- ・部材が倒れて下半身をはさまれる
- ・手を挟み切創を負った
- ・合板の倒壊で潰された
- ・木材とトタン板の剥し
- ・崩壊・倒壊。ケイカル板とベニヤ板。
- ・足場上で滑り、右膝脱臼
- ・脚立を動かす際、脚立と木材で手を挟んだ
- ・不明
- ・踏み抜き
- ・巻き込まれ(4件)
- ・脱臼
- ・筋違い
- ・荷崩れ(2件)
- ・捻挫
- ・崩壊・倒壊(5件)
- ・挟まれ(19件)
- ・挫く
- ・腰痛
- ・無理な作業
- ・後頭部裂傷

災害分類＜墜転落＞の発生状況

- 天井パテ作業中に脚立が倒れて転落。
- 屋根窓ガラス清掃中にバランスくずして梯子から転落。
- 外壁換気ガラリのコーキング状態を確認中、脚立が倒れて転倒する。
- 勝手口灯を取付中に脚立を踏み外して転倒。
- 足場組立中にバランス崩して2層から転落。
- 土留めのブロックにドリルで穴を空ける際、バランスがくずれ転落。
- 脚立上で外壁にドリルで下穴空ける際、ドリルが外れバランス崩して転落。
- 脚立に乗り下屋屋切パネルを取付中、バランスを崩し落ちる。
- マグサ組付中、腰壁上に立ち片側を仮置きし、もう片側の設置のため腰壁から脚立に片足を掛けた時、マグサが外れ、バランスを崩し落ちる。
- 美装中、養生材（プラベニア）を持って階段を下りている時、足元を十分に確認しなかったため、足を踏み外し落ちる。
- 外壁貼り中、外壁位置を調整している時、バランスを崩し落ちる。
- 階段室で石膏ボード貼り中、足場板から足を踏み外し落ちる。
- 9尺脚立に乗り床のボルト締め作業中、バランスを崩し落ちる。
- 組立中、足場から手摺につかまり建物内に入る時、手袋に付着していた接着剤で手が滑り落ちる。
- 梯子に乗り梁を釘打中、梁と吊っていたワイヤーが梯子に接触し、梯子とともに落ちる。
- 脚立に乗りドレン管の穴あけ中、片足を上げ乗り出し作業をしている時、脚立に足をぶつけ落ちる。
- 2階床パネル設置中、仮設置した1階壁パネルに乗った時、パネルが傾き落ちる。
- 天井ボード貼り中、可搬式作業台から降りた際に、右足首を捻り骨折。
- ベランダ撤去で、梁のボルトを外した際に部材と共に転落し肋骨を骨折。
- 仮囲いを横移動中、建地で安全帯を外した際に転落し仙骨を骨折。
- 足場解体中、単管上に足をかけた際に滑って転落し、左膝靭帯を損傷。
- 階段吹き抜け部にて壁補強金具取付け作業中、脚立から降りる際に踏棧より足を滑らせ転落。
- 壁クロス貼り作業中、脚立から降りる際に踏棧を踏み外し転落。
- 建物外側にて掃き出し窓のガラスを拭くための脚立作業中、バランスを崩して転倒。
- 梁中断熱材を設置している際、4尺脚立を跨いだところ、ステップの内側に足が入り、バランスを崩し転倒。
- 内装工事中の鉄骨階段で床養生の薄ベニアを1階から2階へ運搬作業中、バ

ランスを崩し足をすべらせ転落。

- 3階鉄骨梁とラーメン柱をボルト接合作業中、6尺脚立上より転落。
- 屋根上で地上作業者とウィンチ梯子を移動の際、隣接する別棟の足場へ飛び移ろうとして転落。
- 2階への材料の上げ下ろしのために開口蓋を一時撤去し、天井野縁の残り必要本数確認のため天井を見ながら本数を数えていたところ、開口部から1階に転落。
- 外部照明器具取付工事中、5尺脚立を梯子代わりに使用し3段目に昇ったところ、脚立右脚が地面に沈降し、バランスを崩し転落。
- 6尺脚立を使用して1階天井部配管作業中、足の位置を変える時に足を踏み外し脚立から転落。
- 天井化粧梁下地ボードの貼り付け作業中、体を反転した時に、可搬式作業台の長手方向に貼ってある滑り止めに足が引っかかりバランスを崩し転落。
- 深基礎のコンクリート打設のため移動中、道板を支えていた角材1本が折れ道板が傾きバランスをくずし転落。
- 天井配管作業のため脚立に上る際、足を滑らせ転落。
- 木造2階建てトタン屋根の屋根葺き材撤去作業中、屋根上を移動する際、野地板・母屋の腐食部を踏み抜いて2階床に転落。
- 小屋組の梁間に1人で水平ネットを張るために6尺脚立の上から2段目に乗って作業していたところバランスを崩し転落。
- 外装工事中、シーリング職方がキャノピー庇上での作業完了後、足場に戻ろうとして体勢を崩し足場手摺を右手で掴んだまま開口部から転落。
- カーポートを取り付けるために脚立に上がる際、脚立のバランスがくずれ転倒。
- 脚立を使用してガレージシャッター調整中、外部から他工事の職方がシャッターを開けてしまい、巻き上がったシャッタースラットに接触して脚立から転落。
- パラペット上にて一人でシート敷設中雨が降り始めたため、足場から横棧を使用し降りようとした際に右足を滑らせ左上腕部を道板で強打した。
- 現場で天井クロス貼り施工中、めまいでふらつき作業台から足を踏み外し転落。
- 天井ボード張り作業中、脚立上でバランスを崩して転落。
- 屋上でドーム型トップライトを移動しようとして持ち上げたところ、トップライト開口部に足を入れてしまい、態勢を崩したまま水平ネットの隙間から3階床に墜落。
- 屋上にて開口上に仮置きしていたトップライトを移動しようとして持ち上げて

動した際、開口があることを知らずに開口部に足を入れてしまい3階床に転落。

- 天井断熱材を施工中、脚立足場から降りる際に未開封の断熱材をステップとして利用し転倒。
- 外壁下地棧の取付作業中、5尺の脚立を使用して作業していたところバランスを崩し、脚立ごと転倒転落。
- 一階共用部界壁工事中、石膏ボードを持ったまま脚立足場に登る際に2段目よりバランスを崩して転落。
- 2階から1階へ内部梯子で降りる際、固定されていない梯子がズレて墜落。
- 4尺脚立で天井野縁を施工中、脚立の足が玄関枠下の段差に入ってしまう、脚立がぐらつきバランスを崩して転倒。
- 可搬式作業台上で上を向いて下地確認をしている際、可搬式作業台のバランスが崩れて転倒。
- EV室仮床上の可搬式作業台にて梁中界壁石膏ボードの採寸中、バランスをくずし転落。
- 2階バルコニーで防水作業中、避難ハッチの開口部から1階土間に墜落。
- 天井の石膏ボード張りをする際に、不安定な脚立足場を組み立て作業をしてバランスを崩し転落した。
- 住宅で階段踏板施工中に仮敷された型紙段ボールに無意識に手をついて体重をあげ抜け落ち下階の階段へ墜落した。
- 集合住宅の現場で脚立に乗って鉄骨組立作業中に、脚立から身を乗り出して作業していてバランスを崩して墜落した。
- 3尺の脚立を使用してガス配管の接続作業時に脚立をALCの穴に足をついて設置し脚立が倒れ転落した。
- 界壁石膏ボードの耐火パテを施工するために4尺の脚立を昇降する際に踏み棧に足のつま先がひっかかり転落し床に手を付いた際に左手手首を骨折。
- 鉄骨建方中の基礎内部土間コンクリート上で足場へ移動するために1.2m離れた足場へ脚立上から足を伸ばし脚立が不安定な状態となってバランスを崩し墜落した。
- 建方作業中、2階床上で床上のボルト、ナットが入った箱を整理している際に部材整理の際に足元確認が不十分であった為、躯体と足場の隙間≒450mmより玄関ポーチ部へ墜落した。
- クロス下地のパテ塗りを脚立足場にて施工中、脚立足場上で作業中に移動したところ、右足で左足のほどけた靴紐を踏んでしまいバランスを崩して墜落した。

- UB の壁パネルを 2 枚まとめて 2 階廊下から 2～3 階の踊り場へ運搬中に UB の壁パネルを階段の段鼻にぶつけたはずみで、態勢を崩し階段下へうつ伏せで墜落した。
- 先行足場を移動中に手摺未設置かつ段差がある作業床があり左足から降りた時、左足を踏み外し玄関ポーチ上に転落した。
- 天井配線のケーブル引きで脚立の足元を床下点検口のフタ上部に設置して作業したところ、脚立ががたつきバランスを崩して倒れ転落。背中と腰を強打した。
- 外部足場の本足場からハーフアンチに切り替わる場所で開口部に気付かずに右足を踏み外してシートの隙間から転落し、右上腕あたりを仮設電気 BOX にぶつけそのまま動けなくなった。
- 外部足場組立作業で妻部の手摺・中棧の未設置のまま、墜落制止用器具を使用せずに作業をして布材を無理矢理はめ込もうとしたが布材が建地から外れてしまい、墜落して右足を骨折した。
- L G S 建て込み作業中、仮固定をしていなかった L G S が倒れ、その L G S を受け止めようとして立ち馬から身を乗り出しバランスを崩し、立ち馬より飛び降り地面に着地し踵を強打した。
- 2 階床梁上で親綱にフルハーネスのフックを掛けずに、身を乗り出しながら水平ネットに左足で体重をかけ、両手とも梁下に伸ばした時水平ネットの掛け金物が梁穴から外れて隙間から約 3.6m 墜落した。
- 住宅新築工事の足場 1.5 層目の作業床で外壁目地のプライマー塗布作業中に作業床に乗った際に天秤状態になり、墜落して左手から着地し左手首にヒビが入った。
- 根がらみに乗って外壁タイル張り施工中にバランスを崩し飛び落ちた。
- 小屋裏界壁ボード張り作業のため脚立足場上で梁を跨いだ際、バランスを崩して墜落。
- 足場解体作業中、3 層目にて資材荷下ろし作業の際バランスを崩して墜落。
- 2 階床 ALC 敷き込み作業中、段差で足を滑らせ 1 階土間まで墜落。
- 脚立を使用して吊り荷を受けていたところ、バランスが崩れ背中から墜落。
- 脚立足場から前向きに降りるため足をステップにかけようとしたがかからず墜落、その勢いのまま前に置いてあった部材に激突した。
- 玄関框付近に設置した脚立足場上に昇る際、脚立足場がズレ足が土間に落ちた。その際バランスを崩し背中から床に墜落。
- 吊荷 (GW) と一緒に吊り上げられ、約 3m から墜落
- 外装作業中、脚立から降りる際に足を踏み外し転倒し受傷。
- 電気配線作業中、脚立を上る際に足を踏み外して転倒し受傷。

- 仮樋取付作業で足場移動中に階段で足を滑らせ転倒。その際に足場の柱に左頬骨付近があたり、裂傷した。
- 1F床部にて脚立作業中、雨濡れにより脚立の足が滑り転倒し、右肋骨を強打し、右肋骨骨折。
- 内装天井断熱材の充填中にバランスを崩し脚立より転落し打撲。
- 脚立で作業中にくぼみに足元がズレてバランスを崩し落下。
- トラックの荷台で作業中、足を滑らせ転落。
- 2階床組中の頭つなぎ歩行時に足を踏み外し、墜転落防止ネットに墜落。ネットの中で体が回転した際に骨折。
- 仮設電気柱撤去のための脚立作業中、バランスを崩し転落した際に頭部を地面に強く打った。
- 天井照明器具を通話しながら脚立2段目で両足を跨いで取外し中、バランスを崩し左足から転落。
- 作業終了後脚立を下りたところが玄関框の角に左足を着地してしまい、土間へ左足首より落下。
- 庭掘削中、ミニコンボが傾き高さ2m弱から道路上に飛び降りた際、体勢が悪く右頭部・肩・腰を強打した。
- 階段開口部に梯子を掛け、バケツを手にとって昇る途中（高さ=820mm）転落し、踵骨骨折。
- 外部足場上で、出窓下地合板造作中に足場、躯体間を墜落し、脊髄損傷。
- 地下RC壁にパッキン材接着作業中、脚立から転落し頭部裂傷、頭蓋内出血（転落、意識喪失の前後は不明）被災7日後に死亡。
- 外部足場からバルコニー床へ移動の際にバランスを崩し、足を捻りながら着地し、右ひざを骨折。
- レーンによるパネル建方中、脚立に乗り玉掛作業。パネルを動かした際に脚立側にパネルが倒れ、脚立から転落、パネルの下敷きになり、骨盤骨折。
- 階段開口に仮置き、未固定のはしごを未固定と知らずに昇り、はしごごと、階下に墜落し、踵骨折。
- スパイラルダクト取付時、バランスを崩し落下。
- コーキング工事を脚立にて作業中、バランスを崩し後ろに転倒。
- 電気業者が脚立より身を乗り出しバランスを崩し墜落し床に肘を強打した。
- 型枠搬入業者がユニック車の操作中、荷台から飛び降り踵を骨折した。
- 地階への開口部から転落。
- まぐさ材を移動中に控にしていた材が外れ足の甲に落下し骨折した。
- 下屋根の野地板張替時に掛けたハシゴが、昇降の際に滑り墜落。打撲。
- 新築塗装作業中2mの足場作業床より転落し右手肘を切った。

- 脚立はしご(H≒80cm)を下りる際に、バランスをくずして、1階床まで階段を転落した。
- 移動の際に固定されていない足場板部分に乗ってしまい階下に足場板と共に墜落した。
- 2階へ上る梯子7,8段目より足を滑らせる。
- 脚立足場から降りる際、バランスを崩してアキレス腱断裂。
- 2階床部分の作業中に根太板が外れ落下により右肋骨2カ所骨折。
- 脚立に乗り天井下地作業時バランスを崩し転倒した為頭を床に打った。
- カーポート屋根解体中に墜落。
- 足場ブラケットが外れて墜落。
- クロス工がステップ階段(固定無し)より墜転落。
- 建て方、大工が脚立作業で梁受け金物取付け時に転落。
- クロス工がトップライトのパテ打ち作業中に7尺脚立より墜転落。
- 建て方、大工が片付け中に第二作業床から転落。
- 建て方、大工が部材搬入で一旦2階床の安全ネットを外した箇所より転落。
- 左官業者が足場の段差に躓き転倒。
- 足場業者が足場解体中に第三床より転落。
- 建て方、大工が階段廻りでドリフトピン締め付け時に手摺が外れ飛び降りた。
- 代理人が玄関軒天タッチアップ中に足場第一作業床より転落。
- 建て方、大工が外部吹き抜け足場の第2作業床が外れているのを気づかず足を掛け転落。
- 大工が防風シート施工中に足場第一床(H1.4m)より墜転落。
- 勝手口土間にてクロス施工中に脚立からバランスを崩し転倒。
- 上棟作業中に垂木上から二階床へ転落。
- 塔屋階開口部付近にて足場代わりに使用した木材が折れ2階床に転落。
- 木完間際の現場にて3Fからゴミを下す際に、階段(4段廻り)3段目から2段目にかけて足を滑らせ右足を捻った。(2Fまで落ちたわけではなく、1段のみ落ちました。)
- 建方作業中、梁上を移動していたところ、誤って一階土間に落ちた。
- 建方作業中、小屋梁の金物締めをしていたところ、足場の火打ちに頭をぶつけてバランスを崩し3階床へ落ちた。
- 3階ホールで天井野縁を組む為、脚立2段目(高さ60cm程度)に足場板を設置して作業をしていたところ、足場板上を移動してる最中に足場板が外れバランスを崩して転倒した。その際、直下にあった材料を踏み左足を痛めた。
- 階段室のクロスを脚立を使って施工中、バランスを崩し脚立から落ちて階段に脇腹を強打した。

- 建方作業中、2階で合板を敷いた後に仮留め作業を行っていたところ、梁に2辺しか架かっていない未固定の合板に乗ってしまい、1階の浴室土間に落ちた。
- 床梁の荷揚げ作業中、じゃまな床材を動かそうとしたところ、床材の下の開口部に気が付かず1階に墜落した。
- 建て方作業中、仮留めした鋼製火打ちに足を掛けてしまい、2階床に墜落しました。
- 建方作業中、小屋梁を組んでいたところ誤って両端を同時にカケヤで叩いてしまった為、梁がほぞから外れ落下し、ほぞ合わせをしていた被災者の足に当たった。
- システムキッチン搬入時、室内から搬入が出来なく外から揚げようとしたが、持参したロープが短かったので、トラックの荷台から上げようとしたところ、誤って2.5mの高さから墜落した。
- サッシ搬入時、サッシの荷揚げのため仮床の受け材を外そうとしたところ、誤って3階の階段開口部から1～2階に架けてある仮設階段に墜落した。
- 建方作業中、2階の梁架けをしていた際、誤って1階へ落ちた。
- 建て方作業中、2階で厚床を運んでいる際、誤って1階ガレージへ落ちた。
- 合板を荷揚げ移動中、足元を躓いて姿勢を崩し合板と床の間に左手を挟んで打撲。
- 2F から塔屋に昇ろうとした際、梯子が固定されておらず梯子が動いたため慌てて飛び降り腰を強打。
- 建て方（墜落防止ネット設置前）中、足場作業床の移動時に2階床版へ墜落し踵を強打。
- 上棟作業中ネット設置前の梁上に登り、職長注意を受け降りる際に床へ落下し右肩脱臼
- クロス工が仮設階段を下りる時に仮設階段の足元が滑り2階から落下。
- トップライトのパテ処理中7尺の脚立6段目から墜落。
- 建方中吹抜け足場が外れているのに気づかず転落。
- 建方後片付中に第二作業床で無理な姿勢でバランスを崩し墜落。
- 天井施工中7尺脚立の4段目でバランスを崩し墜落、踵を骨折。
- 足場解体中に第3床で建地を外そうとしてバランスを崩し墜落。
- 屋根カバー工法の棟板金施工中に足を滑らせて墜落。
- 先行足場架設中、足場上移動時に道具落下防止ワイヤーが引っかかり、体勢を崩して墜落。
- 足場を降りていた際に、足が滑り踏板の間に右足が挟まったまま転倒・骨折。
- 桁を踏み外して外部足場側も墜落して内手すりのしがみついた。その時に左

膝を足場パイプで痛打した。

- 屋根コニアル張替え工事中の材料荷揚げ中に、屋根に掛けていた脚立が横滑りし、脚立から転落して右足太ももを複雑骨折した。
- 資材の上で作業中に資材が崩れて落下。
- 足場から脚立を利用して降りようとした際に脚立がぐらつき転倒。
- 2階室内階段内部造作段取り中、階段開口部から道板と共に1Fへ墜落被災。
- 室内の昇降階段を昇降中、はしごが滑り転倒し、胸・腿の打撲。
- 上棟工事中、小屋裏の床より壁開口部より2.5m下に墜転落し、手首の骨折。
- 内部造作作業で脚立昇降中バランスを崩し転倒左手首骨折。
- 木造平屋建方中、火打梁を配置中あやまって1F床上へ転落（肋骨骨折）。
- 建方作業中に足をすべらせ2階床梁から転落。
- 外部足場から室内の脚立へ、窓の開口をまたいで入る際、脚立と足場の足が滑り、窓枠に鞑丸を強打し血尿が出てきた。
- ボード貼り作業中に脚立でバランスを崩し転倒し左手首骨折。
- サッシシャッター取り付け時に足場板を踏み外し墜落。右上腕骨折。
- 建方作業中、梁上から転落。
- ビルトインガレージの天井に断熱入れ作業中、バランスを崩し脚立より転落。
- 上棟作業中、桁組み時に桁上から墜落した。
- 外部合板施工時、バランスを崩し足場2階作業床より転落。
- 建方時梁より落下。
- 2Fシャッター取付時に上手く固定されておらずシャッターが落下。それに驚き体がのけぞり足場外に体が投げ出され落下した。
- 屋根板打ち作業中、仮止め破風板に足をかけ、滑って滑落してしまった。
- 下屋(屋根上)の掃除作業後、脚立で降りる際に脚立途中から転落。
- 天井貼り作業中、脚立足場から足ふみはずした。高さ85cm。
- 軒先修理中に雨が降り始めたため、はしごから降りる途中に足を滑らせた。
- 脚立へ木製足場板を渡して作業中足場板が折れて転落。
- クロス下地中、脚立天端に足を掛けバランスを崩して転落。

災害分類<切れ・こすれ>の発生状況

- エコキュートの配管をカットしている時に左手をカッターで切った。
- サッシのシャッター工事中、作業台が倒れ飛び降りた際にスラットを掴み指を切傷。
- ガス給湯器の鋼管の被膜をカッターで切る時に手が接触し切傷。
- 雨水桝アジャスターの高さ調整のため、グラインダーにて切断を行い被災。

- 組立後、釘打機を用い釘締め中、パネルの節に釘が当たった反動で釘打機が左腓腹部に当たる。
- カウンター内部の段ボールをカッターを用いて加工中、カッターが段ボールから外れ指を切る。
- フェンス解体中、釘を抜こうとバールを引いた時、左目に刺さった。
- 下地枠切断中、丸ノコ安全カバーを使用せず左手親指が接触し裂傷。
- 足場解体中、ブラケット材を投げ受け取った際に、左手親指を切創。
- 防水鋼板切断作業で、鋼板を回転させた際に右手に接触し腱を断裂。
- 石膏ボードを切ろうとした際に、カッター刃が滑り左腕を裂傷。
- 巾木の加工作業中、卓上丸ノコでカットした後、丸ノコの歯が上がる際に、巾木に当たり巾木を抑えていた左手が丸ノコの方へ持っていかれ刃に接触し指を裂傷。
- タイベック貼り作業中、防水テープを寸法ごとに切断後、カッターの刃に付着したテープ粘着部分を拭き取ろうとした際、勢い余って左手首上を切創。
- 電気引込用の外壁穴あけ作業中、コア抜きした外壁をゴミ袋に入れる際に誤ってトリガーに指が掛かり、コアがゴミ袋に巻き付き、袋のヒモが指を締め付け指先端を切断。
- CB 上のフェンス柱に干渉する縦筋をグラインダーでカット作業中、グラインダーがキックバックし、左手親指を挫創。
- 下地パテ打ち作業中、パテベラが滑り右手人差し指を裂傷し、指の腱を損傷。
- 下地木を間柱に釘打ちする作業中、発射後の反動で二発が誤射し、人差し指先端に釘が刺る。
- 床下点検口の取手部開口をカッターでの切断作業中に左手親指付け根を裂傷。
- 屋根下地を下の階に降ろしている作業中、廃材をまとめている最中に廃材から出ている釘を踏んだ。
- パテベラに付いた汚れをバケツで洗っていた際、左手に持っていた尖った状態のパテベラの先が右手人差し指の第一関節に当たり裂傷。
- 先行足場設置時に足場筋交を縦地に取り付ける際、誤って右手親指と人差し指間の水かき部を部材に挟み裂傷。
- タイルを加工中、グラインダーがキックバックを起こし、反動で右手甲を切創。
- 基礎の配筋中、基礎を跨いで移動しようとしたところ、右膝を鉄筋端部に強打、膝を挫創。
- PP バンドで固定された 8 段重ねの外壁材を荷解きしようとして右手に持ったカッターで PP バンドを切断した際、勢いそのままに左腕を切創。

- 石膏ボードを丸鋸で加工中、左手で丸鋸の角度調整板を掴み、丸鋸を 90 度回転しようとした際、左手が滑り丸鋸に巻き込まれた。
- 床ボンドが付着した床材を卓上丸のこで切断中、ボンドが付着しないように安全カバーを上げた際、装着していたゴム手袋が刃に触れ手を巻き込み中指指先を切断。
- 屋外埋設配管施工中、配管の床均しを左足で踏み固めていた際、埋まっていたガラスの破片を踏んでしまい、履いていた長靴の靴底を貫通し左足刺傷。
- コンクリートブロックを梱包袋へ入れる作業中、手から外れ落下し、ブロックから出ていた鉄筋が安全靴を貫通し左かかとに突き刺さった。
- 雨養生対策でブルーシートを掛ける為に打っておいた木杭を高さ調整の為、立った状態で丸のこを横に向けて使用して反発して左手の親指を切創した。
- 外構工事側溝敷設作業で丸のこにて型枠コンパネの切断作業時に故障した安全カバーを故意に固定し材料を支えるために歯の近くに右手を添えた状態作業し誤って右手小指を切断と薬指裂傷した。
- 太陽光用の下地鋼板を施工するために、材料を 2 人作業で移動中に下地鋼板が突風で煽られた際に持っていた手から滑り落ち、右手首に接触して手首が切れた。
- 軒天の下地工事中にくぎ打ち機のトリガーを引いたまま手を下し、誤って太ももに接触したさいに釘が発射され釘が太ももにささった。
- 外装工が無資格でグラインダーの刃を取付禁止のチップソーの刃に取り換え、かつ安全カバーも外し調整材を切った際にチップソーが反発し、手の甲に接触し被災した。
- 間仕切建て込み作業中、作業台の上で 2 本の木棧を抱き合わせて固定する際釘打ち機の角度が浅かったため、木棧を押さえていた左手の親指と人差指の付け根の指間部に釘が刺さった。
- 給水管を脚立を使用して立上配管している時に立上した給水管の反動により、軽天下地ランナーの方に押されてしまい、天井の軽天下地ランナーで指を切創した。
- RC 解体作業中吊り荷を見上げたまま移動した際、突出した鉄筋で脛脛を切創。
- 足場解体中ジャッキ下の瓦材が割れていたため養生をする際、風で捲れ上がりそうになった養生材をとっさに抑えたところ割れた瓦で手を切創。
- ベニヤ材をカッターで切断加工中、刃先が折れ押さえていた左手親指根付け根を切傷。
- 既存外壁撤去作業時のディスクグラインダーによる骨折・裂傷。
- 屋根上作業中、下地棧木を充電丸ノコで切断中に右手人差し指と鋸刃が接触

し、指爪先を切断。

- 作業台上でスタイロフォームを敷き、棚板を丸のこで切断中、スタイロフォーム端部で棚板がてんびんになり反発し、左親指切断。
- 躯体工事の外部作業中にくぎ打ち機を使用した際に滑ってしまい、発射された釘 CN90 が自分の左ひざへ刺さった。
- 大工が化粧ササラの木口にシートを貼ろうとしてカッターで手を切った。
- 材厚より短い釘を打ったが偶然内部の釘頭に当たり押し出された釘で足を裂傷した。
- 新築電工作業中天井表金物の釘が邪魔になり抜く際に誤って他の釣り金物に左手甲が当たり親指付け根を切ってしまった。
- 外部ふかし壁を釘打ち機で造作中内部金物に気が付かず釘を打ち込んだ際に跳ね返り左顔面と左目を強打した。
- 建て方作業中、釘打ち機が誤射しふくらはぎに釘が刺さる。
- 土台入れ仕上げの合板を丸鋸で裁断中に誤って左人差し指爪先を切ってしまった。
- 荷揚げ機のレールに手を添えて調整中に、誤ってリモコンで作動させ指を挟んで裂傷を負った。
- 丸のこが太ももに触れ裂傷。
- インパクトドライバーで金物取付時にビットが左手に当たる。
- 可動間仕切の動作確認の際に指をはさむ。
- 軒天解体でカッターがすべり手首に切創。
- 給湯器交換の際カッターがすべり手の指に切創。
- 吊戸の固定中に手がすべり金属部分に触れて手の平に裂傷。
- 大工が丸のこで板金切断中、台座の木材でキックバック。
- タイル工がカッターでクレガーレ(樹脂タイル)切断中に手が滑った。
- 大工がカッターで木材を定規にして石膏ボードを切断中に左手親指切傷。
- 立上り型枠施工時、バールを使用して型枠調整していたところ、セパレータ一角で手首を切った。
- 大工が小屋裏収納の壁下地施工中に釘打ち機で右手ひと差し指に釘を打ってしまった。
- UB 業者が床下地の調整中に鉄板に左腕をぶつける。
- 大工が破風板切断中に丸のこを右手から左手に持ち替え左太腿部に接触。
- 電気業者が大工のげんのうがすっぽ抜けたものに当り、目元付近裂傷。
- 上棟作業中に2階の梁上の段差につまづき転倒。
- 1F 外周部ノボパンを張っている際に、左手に釘打ち機を持ち、右手で裏側から下地を確認していたところ、トリガーを握ったままにしていたため N50 釘

が誤射。右手人差し指を打ってしまった。

- 足場ニ層目でしゃがんで胴縁を切っていたところ、足が滑りバランスを崩してしまい、丸鋸が左腕に接触し裂傷した。
- 階段の養生材をカッターにてカットしている際、誤ってカッターにて左手人差し指の皮を削いでしまった。
- 土台敷き作業中、床の上に釘打ち機を置こうとした際、トリガーに指を掛けたままたたため釘が発射し、右足の薬指と小指の間を釘が貫通した。
- 足場上でノボパンの釘打ち作業中、移動しようとして釘打ち機を下げたところ、射出口が膝に当たり釘が発射してしまった。
- キッチンを1階から2階へ荷揚げしていたところ、ステンレスの架台の角で付けていた手袋ごと右手の甲を切った。
- 型枠の控えを施工中、サポートの調整の為、玄翁で叩いたところ誤って左人差し指に打ち付けてしまった。
- 軽天を運搬中、東から1本抜け落ちたため、抜け落ちた軽天の角で左腕を切った。
- 電気配線工事中、筋交い絡みのコンセントボックス設置時、BOXのための下地を筋交いに沿って設置するために、丸鋸で胴縁を斜めにカットしていたところ、キックバックしたため、左手中指を裂傷した。
- 縦樋のジョイント部分をカッターで切断中、手元が狂い左手をカッターの刃で裂傷。
- 外壁工事中、釘打ちした際、木材の接合金物に反発した釘が左手に跳ね返り骨折。
- 外壁材加工時、稼働中丸鋸の風圧で粉塵を払おうとし、左手首を裂傷。
- 丸鋸で床版加工中、材を固定しない不安全状態で材料が反発、左手親指を裂傷。
- 勾配断熱材の加工中に刃を出して置いていたカッターで裂傷。
- バールにて結束バンドを切断しようとした際に、バンドがはね指を裂傷。
- 梁材を架けている際に、継手に指を挟めて裂傷・骨折。
- 2階床合板留付け作業中、釘打ち機の誤操作で右足太腿に釘が刺さった。
- 釘打ち機の安全装置が足場合板に引っ掛かり、釘が打ち出され手首を貫通した。
- 釘打ち機で左手を打ってしまった。
- 木材加工機のバイスに左手を挟む。
- 足場上作業で釘打ち機のノーズアダプタが外れそうになり手を出した時、トリガーに触れて自身の手を誤射被災。
- 丸ノコで小さな加工をした際に、歯が引っ掛かり暴れ、手指を切ってしまう

た。

- 足場の開口部の凸部に頭をぶつけ、数センチの切り傷※ヘルメット見装着。
- 機械釘打ち機にて、左腕に釘を打ってしまった。※骨や神経に影響なし。
- くぎ打ち機の扱いを誤り右足くるぶしあたりに釘が刺さった。
- 石膏ボードを切断時カッターで指を切る。
- 野地仕舞の際、釘打ち機で足を打ってしまった。
- 除雪機の雪詰まりを取り除く際、回転していたプロペラにて薬指を切断。
- グラインダーにてインターロッキングを切断中、歯をすべらせて左人差し指を断傷。
- フィニッシュ釘打ち作業中、釘が跳ね返り左目をかすめ眼球から出血。
- 内部下地作業中に釘打機を誤って左手に打ってしまった。
- 屋外足場上で換気パイプの切断作業中に、電気カッターで左手小指付け根を切ってしまった。
- 土台敷時にボルト穴あけドリルにつまづき、右手をついてしまい肘上に裂傷を負った。
- 廻り縁をのみで加工中、のみを滑らせて切傷してしまった。
- 建て方作業中、柱と桁を組合立てる時に、手を置いていて木槌で打たれて右手の小指を裂傷した。
- 軒天釘打ち中手元が狂って左手に釘を誤射。
- 玄関ドアノブ養生の為 養生材をカッターで切断中誤って指を切断。
- シーリング材のノズル先端をカッターで切断中誤って左足太ももを切断。
- 型枠制作中、電動ノコで右大腿内側を切ってしまった。

災害分類<車両系建設機械>の発生状況

- ユニック作業中に鉄板がフックから外れ、両足甲の上に鉄板が落下。
- トラックから土石を降ろし中、後方のアオリを外そうとして指を挟まれる。
- 施工機のキャタピラを動かしながらホース（水）で掃除している時、汚れを指でかきだそうとして挟まれる。
- 掘削作業中、右キャタピラが沈み重機が転倒し、右足が挟まれ骨折。
- 根伐り補助作業中、ユンボ作業範囲に侵入してしまい、旋回したユンボのバケットに接触し打撲。
- 傾斜地の前面道路に駐車した3tユニック車から荷下ろし作業中、トラックが動き出した為、キャビンに飛び乗り停車させた際、トラックのドアと車体に足が挟まり骨折。
- 掘削土をミニユンボで運搬中にキャタピラがぬかるみにはまり転倒した。そ

の際に運転者が重機と地面に挟まれ左足を骨折。

- 現場の前面道路で掘削作業していたバックホウを無免許で運転し道路が斜面でバランスを崩し残土を積み込む為駐車していたダンプと転倒したバックホウに右足を挟んだ。
- 敷地外水路でミニコンボ作業中に監視人が他作業に気をとられ監視を行っているときに、被災者とオペレーター双方が接近しキャタピラ接触した。
- 外構業者がハンドガイド式ローラーを後ずさりして作業中に転倒、右足脛(スネ)から下を轢かれる。
- 解体工が重機で灯籠を吊り上げ時に手を挟んでしまった。
- 外構業者が資材荷下ろし中にユニック車転倒。
- プレキャスト基礎据付中、吊上げた時に荷が倒れ、作業員の足に当たる。
- 建て方作業中吊り荷が作業員へぶつかり 1 階壁上部より墜落。

災害分類<激突>の発生状況

- 建柱車吊り上げの際、建柱車がバランスを崩しレッカー車のキャビンに衝突。衝突前にオペレーターがキャビンから跳躍し、着地した左足踵を剥離骨折。
- 下屋上にて外壁材を持ちながら足場をまたぎ移動した際に単管に眉間が激突。

災害分類<激突され>の発生状況

- 内部足場解体中、手摺を外すためハンマーを振り下ろした時、ハンマーが肘に当たる。
- 屋根パネル上で作業中、パネルが傾き、下の作業員肩に当り脱臼した。
- 場外駐車場に通勤車両駐車した際、後ろには人がいないと思い車をバックさせ車両とフェンスの間に挟んでしまった。
- レッカーにて荷揚げをしていた合板が上部から落下し作業員へ激突。
- レッカーにて荷揚げをしていた合板が上部から落下し作業員へ激突。
- レッカーにて荷揚げをしていた合板が上部から落下し作業員へ激突。
- 外国人実習生が PC 基礎を吊り上げしている時にバランスが崩れ基礎が転倒、接触。
- ユニック車で加工鉄筋の荷下ろし中荷崩れし、荷が自身の足に激突被災。
- 土台作業の際、釘打ち機を持って移動中右足へ釘を誤射。

災害分類<飛来落下>の発生状況

- 基礎のラチス梁を取付中、位置を調整していた時、基礎から外れ足の指に落下した。
- 資材を運搬中、梁が落下し顔面に当たった。
- 足場解体中、手摺部材の手渡しで、下で掴む前に手離し足に落下し裂傷。
- 解体現場内にて分別作業中、モルタル付石膏ボードが外れ背中に当たった。
- HPC 杭工が杭打機による圧入施工が完了の際、作業者との行き違いでオペレーターが圧入キャップを上げたため、鋼製のヤットコ（重量 20 kg）が倒れ足の甲に落下。
- クレーンにて外装材吊り上げ時、荷が強風で煽られ荷崩れを起こし、トラック荷台上に落下、荷台より落下した荷が当たった。
- 1階土間の基礎上で1階独立柱を2人掛で移動中1階独立柱の足元側に持ち上げた材料に対しての注意が散漫しており無意識に左手を放してしまい、バランスを崩した独立柱が左側に傾きそのまま左足の甲に落下した。
- パーチクルボードを運搬していた揚重工が転がし配管に躓きバランスを崩した際に運搬していたボードを近くで作業していた配管工の足に落とし被災させた。
- エアコン室内機のアース線を差し込む際に手が滑って、アース線が跳ね返って目に接触。
- トラック荷台から仮設資材のクランプを取り出す際に、ひっかかっていた別のクランプが右足に落下。
- 人力にて屋根解体作業中はがした野地板を落下させてしまい、下で作業していた被災者に接触した。
- ユンボで資材を移動中、吊り荷のヒモが切れて下敷き。
- 足場板を外して、掛けなおす際に手を滑らせて、左足に落下して骨折。
- 基礎左官仕上げ段取り作業中に、上部で作業を行っていたアルミ笠木取付業者が誤ってアルミ笠木を落下させ、被災者の後頭部に接触し裂傷を負った。
- 合板を留める際にフィニッシュネイルか木片が目に飛散した。
- まぐさ材を移動中に控にしていた材が外れ足の甲に落下し骨折した。
- 駐車の為輪留めブロックを荷台に投げたところ職方の手に当たった。
- 外構業者がL型側溝を左足に落下させる。
- 階の床材の荷揚げ中、3階床レベルに置いていた梁材(210×2700)に、荷揚げをして引き揚げた材料がぶつかってしまい2階の床へ落下。落ちた梁材が、2階付近の足場上でメッシュシートを押さえていた被災者の右手薬指にぶつかった。
- 3階の床梁を組み上げようとした際、梁を持っていた作業員がかけやを取ろ

うと梁から手を離したところ梁が落下し、柱を支えていた被災者の頭に当たった。その際、転倒し顎を床にぶつけた。

- 建て方作業中、トラックの荷台にある梁を担ごうとしたところ、誤って足の上に落としてしまった。
- 小口の梱包テープが切れ、シャッターボックスが滑り落ち、運搬者の左腕を裂傷。
- 2階床から屋根へ荷揚げ中、下から差し上げた合板を上の大工が手を滑らし落下、下で受けた大工の指裂傷。

災害分類<転倒>の発生状況

- サッシ交換作業中、サッシ枠を跨いだ時に転倒。
- 室内階段を点検中に養生がすべって転倒。
- 石膏ボードを作業台に搬送中、右足が滑って転倒
- 基礎埋戻し中、基礎天端を移動していた時、足を踏み外し、アンカーボルトに胸をぶつける。
- 組立中、トラックを誘導するため急いで移動している時、鋼製梁につまづき倒れ、その前に置いてあった台木で胸を打つ。
- 石膏ボード荷揚げ作業で、さや管に躓き転倒し、眉間を裂傷。
- 下地材の運搬で、床に置いてある資材に躓き転倒し、右手首を骨折。
- 車のハッチドアを閉めようとした際に車止めに躓き転倒し、踵を骨折。
- 自転車に道具の積み込みをしている際にバランスを崩し後方へ転倒。
- 先行配線施工中、室内玄関土間から土間へ降りる際に CB につまづき転倒、倒れ込んだ先に置かれていた鋼製大引の小口で右太腿を裂傷。
- 屋根上で瓦釘等を間配り中、瓦の束につまづき転倒、軒先から2層目足場上、下屋根上に転落、頭部裂創。
- 型枠天端上をベース型枠を両手に持って移動中、足が滑り型枠内部にはまりバランスを崩して前のめりに転倒。
- 鉄筋を間配り作業中に資材に躓き転倒。
- 間配りで野縁受けを持って移動中、玄関土間に降りようとしたところ野縁受けのクリップが、先行配線の電線に引っ掛かりバランスを崩して転倒。
- 給水配管工事の土間コア抜き作業中、コアドリル回転刃が地中埋設物に干渉し、キックバックを起こして反動で転倒。
- 足場階段でステップの2段目から1段目へ降りるときに足を踏み外して転倒。
- 型枠を跨ごうとした際、足を型枠に引っ掛けたが足があがりきらず後方へ転

倒。

- 基礎型枠上に昇り移動する際にアンカーボルトに躓き、バランスを崩し型枠上から転落。
- 階段足場から降りる際に尻もちをつき腰を打った。
- 深基礎 H1200 から GL へ上がろうとした際、バランスをくずし転倒。
- 仕上作業中、階段部で足を滑らせ転倒。
- 外構工事で据え付けたハンドホールの周りを埋め戻し、穴の中を転圧しようと足を入れ踏み固めていた時に、足を挟んだまま転倒し骨折した。
- 防水工事の為、バルコニーで除雪しようとしたとき、作業床の降雪した養生シートの上で滑って転倒。
- 集合現場の 1 階で大引き材料を間配り中に足元確認不足で設備配管に躓き転倒した。
- 外構工事の捨てコンクリート上で墨出し作業中に足が地面に引っ掛かり態勢を崩したあと段差でさらにバランスを崩して左足首を捻りながら転倒した。
- 1 階内部の床施工前の玄関敷居から土間まで段差大きい状態で配管を踏み台にして降りようとした際に足首を捻り転倒した。
- 住宅現場の玄関で上がり框に躓き転倒した。
- 住宅現場で基礎型枠解体材を移動するのに基礎天端の上を両手に鋼製型枠 2 枚を持ち運搬中に基礎天端のアンカーに躓き転倒した。
- 現場付近（現場から 100m 程度）の道路上で、道路マンホールの段差でつまづき転倒、道路際の縁石に前頭部を激突させ、立ち上がれずにいたところを第三者が発見し救急搬送された。
- 住宅外部足場で左足が作業床の隙間で踏み外し、態勢を崩したことで、咄嗟に近くの足場手摺を右腕でつかみ、自身の体重が右肩にかかったことで、右肩を痛めた。
- 玄関ポーチ前に設置されてあった外部足場の根がらみに足をかけたところ滑り転倒。
- 大工工事中、3 尺脚立から 2 段目から 1 段を飛ばし降りようとした際に足首を捻り転倒。
- 基礎鉄筋組立作業中杭基礎ベース部に降りた際、釜場に足を取られ転倒。
- 10 枚重ねて立てかけてあった石膏ボードをまとめて動かそうとした際、倒れ掛かってきたため受け止めようと。
- 足場組立作業中、足元においてあったジャッキに躓き転倒した。
- 産廃小運搬時、玄関ポーチ段差部で足をくじき受傷。
- 機材の搬入中に転倒し、顔面を打ち額を裂傷。

- 仮設工事で足場材料の間配り運搬中の転倒により靭帯損傷。
- 電気メーターボックスを外壁固定するため、脚立と電気メーターボックスを持って移動していた際、外部排水立上管につまずき、膝から落ちて膝下及び膝裏を骨折した。
- 鉄骨梁の搬入作業の際、基礎土間配管につまずき持っていた鉄骨梁と基礎に左小指を挟み骨折した。
- 解体作業中に畳材を手運搬していた際にバランスを崩し、尻もちをついた。
- インターホンで来訪を告げ、玄関先へ歩行中に雨天で濡れた土間仕上げの枕木に足を滑らせ転倒し左ひじを地面に打ちつけた。
- 高低差があり、登り切ったところでバランスを崩し転倒。
- サイディング材持ち運び中に、現場養生用のゴムマット下のU字溝と敷地の段差に躓く。
- 型枠解体の作業中に基礎内側から資材を取る為に外部に出ようとした際に足を滑らせて右肩から転倒した。
- 足場解体中に屋根上で尻もちをつく。
- 解体工が転倒して、飛び出していた釘に左手の平を突き刺す。
- 外壁タイル工がゲートあおり留めロープに躓き転倒。
- 基礎工、打設後養生シートを覆う際に型枠サポーターに躓き転倒。
- 地下室の作業員が法面で足を滑らせ転倒。
- 建て方、荷揚げ業者が梁の間配りで後ずさり梁につまずき転倒。
- タイル業者が養生材のプラ敷の段差で躓き転倒。
- 高さ2m程度の足場作業床上で雨養生作業中に足を滑らせ転倒。
- 鉄筋施工中、スラブ筋上を移動中に深基礎部分に足をとられ、転倒しないように立ち上がり筋を掴み踏ん張ったところ、右腕のスジを痛めた。
- 建方時、2階で小屋梁を運んでいたところ前のめりにバランスを崩し、梁を持ったまま左手を左足にぶつけてしまい、左手と左足を打撲した。
- 立上り打設時、室内からガレージ側に移動するため、型枠を跨いで飛び越えたところ、型枠を固定していた杭を踏んでしまい、足を捻ってしまった。
- 建方作業中、材料を運びこうもとしたところ、足元に置いてあった角材に気が付かず踏んでしまい、左足を捻ってしまった。
- トラックの荷台から降りる際にバランスを崩し、トラックの荷台に頭と首の境あたりを強打。
- 倉庫から材料を積込む際に転倒し頭をぶつけた。
- 基礎打設後の養生中にサポーターに躓き転倒し剥離骨折。
- 玄関タイル施工の為入場しプラ敷に躓き転倒。
- 建物から出るときに未固定の階段ステップより転倒した。

- 建て方作業時に転倒し骨折。
- 作業中ぬかるんだ地面で滑り転倒足場に脇腹をぶつけ骨折。
- 上棟時、桁を運んでいる途中で転倒、左足首を骨折。
- 足場部材を担ぎ運搬中、地盤柔らかいところに足を取られて転倒し顔面強打。
- 構造材玉掛け作業中、除雪による雪山に足をかけ、足をすべらせた。

災害分類＜熱中症＞の発生状況

- 解体運搬作業中に熱中症。
- 屋内で掃除や養生などの軽作業をしていた合間に、日陰のない屋外で休憩中に痙攣しすぐに救急車を呼び病院へ搬送。
- 作業中、足が攣ったため水分とタブレットを補給の上1時間ほど休憩したところ症状回復したため帰宅したが、帰宅途中で容態が急変し自ら救急車を呼んだ。（熱中症）
- 建方荷受け作業後の休憩中に突然動けなくなり OS1 を飲むが回復しない為、救急車を呼んだ。（熱中症）
- 現場内で休憩中めまいが起きた。（熱中症）
- 1階梁玉掛け中に体調をくずし倒れ込んだ。（熱中症）
- 一人作業で IH コンロの取り付け作業中に体調が悪くなり、外で休んでいたが復調せず倒れる。合い番で作業を行っていたタイル業者が救急車を呼んだ。（熱中症）
- 杭工が杭工事杭頭処理作業中、体調不良となり休憩していたが、回復せず体のつり等の熱中症の症状があったため救急搬送した。（熱中症）
- 基礎工事完了後仮設トイレの中で、嘔吐し倒れた。（熱中症）
- 2階 ALC 床荷受け作業中、気分も悪くなったためエアコン効いた車で休憩したが回復せず、救急車を呼んだ。
- 屋外給排水工施工時に体調に異変を感じ、スポーツドリンクを摂取し車中で休憩を取ったが回復せず、右手が痙攣してきたので病院に搬送した。（熱中症）
- 外構造成整地の手元工としての作業中に、手の痺れと顔の赤みが見られた為、OS1 摂取し瞬間冷却材で冷やしたが症状の改善が見られず、救急車を呼んだ（熱中症）。
- 土工事中に急に足がつって動けなくなり近くの日陰で休憩をとり、その後車の中で水分補給をして休憩していたが体調が回復せず、救急車を要請した。（熱中症）
- 整地作業の土を運搬中、体調が悪くなり、発汗が止まらず意識がもうろうと

してきた。(熱中症)

- 脱枠作業中、休憩中に自動車内で足を攣って動けなくなった。(熱中症)
- 屋外給排水工事中、全身の痺れを感じて自宅へ帰ったが体調が改善されなかった為、救急搬送された。(熱中症)
- 作業終了して置き場に車で帰る途中に体調が急変し、置き場まで到着したがすぐに体が動けなくなり救急車を呼んだ。(熱中症)
- キッチンの搬入作業中に 9 時半ころから体調が悪くなり屋外テントにて休憩中に意識がなくなり倒れた。
- 昼休憩を取っている際被災者が頭痛を訴えた為、熱中症対応する為に休憩所へ移動。その後工事担当者が現場から 5 分の場所にある診療所へ連絡・緊急搬送した。
- WBGT 値 30℃の環境下での作業後の昼休憩後の作業再開時に気分が悪くなり休憩を取っていたが熱中症の疑いがあった為、救急搬送された。
- 基礎打設後の脱枠作業中、WBGT 値 29℃「厳重警戒」の作業で午前中の作業による疲労の蓄積があり休憩所にて意識がなくなり、救急車を呼び緊急搬送した。
- 住宅建設現場内にて 1 階の鉄骨の梁組の作業を行っている時に頭痛と吐き気及び足がつる症状がでた。
- 足場解体作業にて WBGT 値 31℃の環境で作業を行い、体調が悪くなったが(痙攣発症)すぐに救急車を手配せずに、休憩場内で休憩してたが回復しないため救急車にて搬送した。
- 外壁建て込み工事作業中に WBGT 値 30℃の環境下で嘔吐と口の渇き、頭痛の症状がでて、熱中症と診断された。
- 外壁建て込み工事作業中に WBGT 値 30℃の環境下で嘔吐と口の渇き、小指しびれ、立ち眩み、頭痛の症状がでて、熱中症と診断された。
- 基礎ベース部分の土の掘削作業中に WBGT 値 34℃の環境で気分が悪くなり、救急車を呼び救急搬送した。
- 2 階床梁組作業時に WBGT 値 31℃の環境下で痙攣が全身に発生し、熱中症を発症した。
- 室内クリーニング作業中、WBGT 値 22℃作業環境下で、作業中に吐き気と頭痛の症状があり現場敷地内で座り込んでいるのを近隣の方が発見し救急搬送、病院にて熱中症と診断された。
- 連日の疲れがたまった状況で作業を続けたところ意識が朦朧となる。
- 配管作業明けの昼休みにおいて、食欲がなく休んでいたところ、共同作業者が状況が悪いと判断し救急車を要請した。
- 作業が完了後片付けをし始めた際にふらつきとしびれを感じた。

- 太陽光パネル施工中体調が悪くなり、午前作業終了後体調が悪化、本人自身で動けない為、現場にいた大工より救急車搬送依頼。
- 外部テラスのタイル施工中に気分が悪くなり、テラスの日陰で休憩していたが、その後体調が悪化し救急車を呼んだ。
- 作業が終わり事務所に戻ったが全身の痺りがひどく改善されず。
- 30分毎に水分補給していたが熱中症を発症。
- 屋根業者が帰宅後倒れ病院に搬送。
- 建て方、荷揚げ業者がコラム手お越し時に体調不良。
- 解体、足場業者が設置完了後に体調不良となり救急車で病院に搬送。
- 大工がサッシ・間仕切り建て作業中に体調不良。
- 建て方、大工が11時頃体調不良で休憩中に倒れて嘔吐。
- 基礎業者が14時頃捨てコン作業中に体調不良。
- 建て方、大工が11時半頃体調不良で手に痺れあり。
- 電気業者が13時頃に小屋裏作業で痙攣。
- 外構業者が18時頃事務所に戻り全身がつり身動き取れず。
- 足場架設中、地上から足場部材を荷揚げしていたところ、気分が悪くなり、意識が朦朧としていて自力で水も飲めない状況だったため、病院へ救急搬送した。
- 建方荷揚中に体調不良となり休んでいたが足がつり救急搬送。
- 現場作業終了し帰宅時に体調が悪くなり自宅から熱中症で救急搬送。
- 捨てコン打設中ふらついて、休憩していたが病院へ搬送。
- 住宅先行足場組立の材料運搬中体調異常を訴え熱中症発症。
- 熱中症発症。
- 給排水取り出し工事中に熱中症になり搬送。
- 外壁張り替え作業中に頭痛がしだした為、救急車で病院へ。

災害分類<その他>の発生状況

- 気温低下の為、屋根シートをガスバーナーで温めたらズボンに引火。
- 石膏ボード搬入後、トラックに帰る時、排水蓋上に乗った際、蓋がずれ足が溝に落ち膝が蓋に当たる。
- 雨が降っていたため発電機を車の中に入れて基礎内の水を水中ポンプで排出中、車で休憩していた時、一酸化炭素中毒となる。
- 梁上に置いた電動ドリルを、手袋をした手で手探りでつかみ、脚立を下りる時、スイッチを押してしまい、指がドリルに巻き込まれる。
- ラックからパネルを吊上げ中、突風にあおられラックが倒れ、トラックとの

間に挟まれる。

- 建方作用中、鉄骨柱を手で動かしたとき、枕木から落ち右手を挟み骨折。
- 塗装工事中、駐車車両が燃え車内から一斗缶を取り出す際に手を火傷。
- ユニックで型枠パレットを吊る作業で、パレットが倒れ足を挟み骨折。
- 材料運搬作業で、資材を持ち上げようとした際に腰を痛めた。
- ポンプ車後ろで準備中、バックしてきた生コン車に挟まれ膝を挫傷。
- 羽根の回転した状態で、モルタルミキサーに手を入れ、指を骨折。
- 外周部壁石膏ボード張り作業中、石膏ボードを運ぶ際に無理な態勢をとり肋骨疲労骨折。（4/6 労災認定）
- 高力ボルトの締め付け作業中、反力レバーが作動した際に鉄骨材とレバーに指を挟まれる。
- 2人作業で立て掛けていた石膏ボードから奥の石膏ボードを抜き取る際、被災者が支えていた石膏ボードが倒れ、背面にあった独立柱と石膏ボードに体を挟まれる。
- 現場入場時ゲートを開ける際、ゲートの格子の間に左手人差し指を挟む。
- 舗装工事アスファルト敷均しのための準備作業中、かがんだ状態から立ち上がる際、重機フィニッシャー横にあるセンサーアームに接触。
- 建方職が基礎土間上で職長とラーメン柱を立て起こそうと移動した際に、バランスを崩しラーメン柱と仮置き材に左腕を挟み左手のひらを裂傷、腕を打撲。
- アスファルトフィニッシャー（ホッパー内部）の清掃作業中、後方ホッパーに左足を挟む。
- 脚立上で水平ネットを取付け中、脚立上で振り向いてた際に右肘をラーメン柱に当てる。
- 軒裏サイディング張り作業中、両腕を上げ軒裏サイディングを仮押さえしていた際、右腕をおろし体制を変えたところ左肩を脱臼。
- 仮設トイレの運搬中、段差にトイレが引っ掛かり持ち上がらずにトイレが下に落ちた際に手を挟む。
- 1階天井下地工事中に、可搬式作業台から降りようとした際に下に落ちていたビスの袋を踏んでしまい足を挫いて靭帯が断裂。
- 2tトラックの荷台で足場材料の荷下ろし中、手摺の材料を取ろうとした際、材料が崩れ指が挟まれる。
- 掘削土砂を一輪車で運搬中、既存会所につまづきバランスを崩し左足で踏ん張った際に左膝を捻る。
- クレーンで吊り上げたキャノピー底を2人作業で取付中、腕木とキャノピーの間に指を挟む。
- ダイン外壁を目地調整作業中、外壁受け金具のボルトを締めた際ダイン外壁

パネルがズレ下がり、受け金具を抑えていた右手親指を下の外壁取付金具に挟まれた。

- 折りたたみ架台を片付け中、畳んだ架台に指を挟んだ。
- 1 階床パネルから内土間部へ道具を取りに移動中、鋼製束につまづき捻挫。
- 界壁下地作業中、部材を飛び越えバランスを崩し搬入済ボードの上に手をおいた。その瞬間に、荷揚屋さんがボード(12mm3 枚)を搬入し手が挟まれた。
- 内壁枠の搬入作業中、床パネル未施工部に足を踏み外し土間に落ちて足首を捻る。
- 車に乗り込む際、右足先に荷固定用のロープが引っ掛かっている事を気付かず、運転手が車を発進させ、ロープがタイヤに巻き込まれ引っ張られ右足五指全て骨折。
- 掃き出し窓から踏み台を使用し室内に上がる際に踏ん張った所、左膝からビチビチと音が鳴ると同時に激痛が走り左膝が動かなくなった。
- 杭打ち機削掘オーガーを地面から引き抜き作業中、オーガー付着の泥をオーガー回転している状態で手を入れて除去しようとしオーガーに絡まり右手を裂傷。
- コンクリート圧送作業の補助員が、ポンプ車後部でホッパー下部の攪拌駆動部から油が垂れていたため、手でその確認をしようとしたところ右手が巻き込まれた。
- 本来資材の立て掛けは禁止であるはずなのに、立てかけてあった PB を運搬しようとして誤って転倒させ左足が挟まれた。
- 建て方工事中にドアクローザー未設置で固定せずに開けたままの状態玄関ドアが風に煽られ、枠に手を当て休憩していた作業員の手が挟まれた。
- 住宅建物外部で足元の工場出荷の通い箱が見えづらい中、安易に跨ごうとしたが、箱に躓き転倒した。
- 間仕切壁の墨出し作業中、次の墨出し準備のため、右足に体重がかかった状態で立ち上がり膝裏に痛みが生じ、立てなくなった。
- パワーショベルで掘削と整地の作業中、重機を停止し打ち合後に作業再開した時、バックした重機に驚き、作業員が後ずさりするように倒れ、左足をキャタピラで踏まれて被災した。
- 雑工が段ボール搬出の為に、段ボールを集積中に束ねた段ボールを地面に置き元の体勢に体を戻そうとした際に蓋骨が外れて脱臼した
- 雑工が転倒防止対策もされずに柱に建てかけてあったパーチクルボードの裏を持ち上げ除いた際にボードが転倒し膝に接触した。
- 排水配管内の清掃・除去作業で洗浄用ホースを差し込む為に配管にインパクトドリルで穴を開けている時に薬液が混じった排水と汚物が作業服に染み

込んで、皮膚に火傷状の症状が出ていた。

- 石膏ボードを移動中立てかけていた3×6、16枚の石膏ボードを一人で石膏ボードを二枚待ちあげその際に残りのボードが倒れて下敷きになった。
- 2tダンプから型枠資材を荷下ろし作業をしている時に資材の重さに耐えきれず腰に負担がかかり痛めた。
- 揚重工がLGS材(L3000 1束)を外部足場に立てかけていて、そのLGS材が突然倒れ近くいた作業員に激突した。
- 床材(パーチクルボード)を固定する際、ネジを押さえていた左手(ゴム手袋装着)が、手袋とビスが絡まっていたことに気づかずにドリルを作動したため、ゴム手袋が巻き込まれ人差し指を骨折した。
- 足場の解体作業で建地支柱を受け取り、仮置きする際、左手小指が仮置きしている建地支柱のコマとコマの間に挟まった。
- トラック後退誘導時、仮置きした部材を移動させたが転がってきてしまったのでとっさに足で抑えようとした。
- ボード張り施工中、上部を仮止めした下部をしゃがんで調整していたところ、上部の仮止めが外れ倒れ掛かってきたためとっさに足を踏ん張って押さえた。
- 外部昇降設備を降りていたところ、昇降階段のズレがあり踏み外しそうになる。その際足をふんばったら膝裏を痛めた。
- 建て方工事において壁パネルを上向きに固定するボルトと基礎アンカーボルトの間に指を挟んだ。
- プレキャストコンクリートパネル重ね積み作業の3段目でホスト操作を誤り、製品が倒れて腰、足を挟まれた。
- 荷揚げ作業中に集成材と集成材の間に手を挟み切創を負った。
- 立て掛けてあった合板15枚の上部を浮かそうとして倒壊、潰された。
- 新築建て方作業中2階足場にて外壁材(ノボパン合板)を貼る際に合板を落としそうになりバランスを崩し腰痛となった。
- 解体工がトタン板と下地木材の分別解体時に右手人差し指を裂傷。
- 建て方、荷揚げ業者が2階床梁と柱に左親指を挟み2針縫合。
- アルバイト社員が資材物流倉庫で意識を失い倒れる。
- 運転していた軽トラックのタイヤがバースト横転した。
- 足場業者が車両からの部材の荷崩れにより下敷きとなる。
- 大工が天井断熱材施工中に右手薬指第一関節から曲がった状態のままになる。
- 建方作業中、2名で梁(330×5300)を移動させている時に手をすべらせ、持っていた梁と床に置いてあった梁との間に左中指を挟んだ。被災時、第一関

節より先が皮膚で繋がっている状態だったが、手術を受けて患部を繋いだ。

- 防蟻工事中、車庫内に立て掛けてあったノボパン 3×9 尺 21 枚を起こしたところ、倒れ掛かってきたため、左手で支えようとし左肩を痛めた。
- 立てかけた合板に転倒防止措置を施そうとした際、誤って材を倒し足の脛を強打。
- 天井断熱材施工中、指が曲がって戻らなくなり、腱損傷と診断。
- 壁パネル施工時に、仮止め部材が外れ壁パネルが倒れかかって来た。とっさに倒れてきたパネルを支えた為、背骨を捻挫した。
- 材料仕分け中に合板の隙間に刺したバールが外れて左手を挟む。
- 足場の単管に足をかけて移動中に足を滑らせ、右ひざをひねって、膝の骨が外れた。
- 上棟作業中、梁に指を挟みそうになり、裂傷。
- ポーチタイルを養生していたビニールが降雪により濡れており、ポーチ階段降時に足を滑らせ転倒。頭部をポーチ階段に激突し裂傷。
- 脚立移動時に手を木材と脚立に挟んで、小指を骨折した。

会社名 _____

ご担当者名 _____

TEL _____

貴社の請負住宅および建売住宅のうち、3階建以下の戸建住宅・集合住宅工事において発生した災害（通勤災害を除く）で休業1日以上のものについて、ご報告ください。

貴社が、以下A～Fの団体に複数加入されている場合、各々の団体から当調査用紙が配布されますが、報告書は工法別に集計して各団体へ返送して下さい。

ご注意：①同じ報告書を複数団体へ提出しないようにお願いいたします。（工法別の集計報告書を、各々該当する団体に提出することはかまいません。）

②労働災害発生件数が0件でも完工棟数等をご記入のうえ、報告書をご提出下さい。

（貴社が加入されている団体の労災発生率を調査するために、ご協力をお願いいたします。）

③増改築・リフォーム工事を関連会社等別会社（A～F 団体未加入）が元請として請負っている場合は、それを計上する必要ありません。

以下1～4の各質問にご回答ください。

1. 貴社加入団体（複数加入なら該当団体全てに○印を）

- A. プレハブ建築協会 B. 日本木造住宅産業協会 C. 日本ツーバイフォー建築協会
D. 全国住宅産業協会 E. 輸入住宅産業協会 F. JBN・全国工務店協会

2. 当報告書の提出先団体（該当団体1つに○印を：同じ報告書を複数団体へ提出しないで下さい。）

- A. プレハブ建築協会 B. 日本木造住宅産業協会 C. 日本ツーバイフォー建築協会
D. 全国住宅産業協会 E. 輸入住宅産業協会 F. JBN・全国工務店協会

3. まとめ（工法区分ごとに集計していれば工法ごとに記入して下さい。該当工法を○で囲んで下さい。）

工法記号（イ・ロ・ハ・ニ・ホ・ヘ・ト・チ）

- イ. 木造在来軸組 ロ. ツーバイフォー ハ. 木質プレハブ ニ. 鉄骨在来
ホ. 鉄骨プレハブ ヘ. コンクリート在来 ト. コンクリートプレハブ チ. その他（混構造等）

貴社の令和4年1月～令和4年12月の工事棟数
（工法別）

ホイ ・ 工 ・ 法 トハ ・ チニ	新築工事 年間 完工棟数	棟
	増改築・リフォーム 年間 完了件数	件
	解体工事 年間 完了件数	件

貴社の令和4年1月～令和4年12月の工事棟数
（工法別）

ホイ ・ 工 ・ 法 トハ ・ チニ	新築工事 年間 完工棟数	棟
	増改築・リフォーム 年間 完了件数	件
	解体工事 年間 完了件数	件

貴社の令和4年1月～令和4年12月の
労働災害発生件数（上表工法分）

労働災害 年間 総発生件数 （休業日数 1日以上）	件
---------------------------------	---

貴社の令和4年1月～令和4年12月の
労働災害発生件数（上表工法分）

労働災害 年間 総発生件数 （休業日数 1日以上）	件
---------------------------------	---

- ・労働災害年間発生件数無しの際は0件とご記入ください。
- ・集合住宅は戸数ではなく棟数にてご記入ください。

4. 労働災害年間総発生件数内訳（休業1日以上）

*別紙の労働災害年間総発生件数内訳（休業1日以上）報告書に記入して下さい。用紙が足りない場合はコピーしてご使用下さい。

*工法ごとに集計している場合は、1工法1用紙にご記入下さい。

*別添の「労働災害分類番号一覧表」ならびに 報告用紙N○2に記載した記入例を参照してご記入ください。

以上

令和4年1月～令和4年12月低層住宅労働災害発生報告書（戸建住宅・低層集合住宅 No.2
労働災害年間総発生件数内訳（休業1日以上）報告書

会社名

当用紙を工法区分ごとに集計している時は以下の工法区分の一つに○を付けて下さい。

- イ. 木造在来軸組 ロ. ツーバイフォー ハ. 木質プレハブ ニ. 鉄骨在来
ホ. 鉄骨プレハブ ヘ. コンクリート在来 ト. コンクリートプレハブ チ. その他（混構造等）

※記入欄が足りない場合は、同じ書式で別紙にご記入下さい。

No	災害発生日時			被災者 区分	年 令	性 別	作業 分類	職種 分類	災害 分類	工法 区分	工事 種別	休業日数別							
	月・日	曜日	時刻									1～3	4～7	8～30	31～90	91～	死亡		
1																			
	災害分類：90. その他 記入欄			作業分類：13. その他 記入欄			職種分類：26. その他 記入欄		壁転落：19. その他 記入欄			切れ・こすれ：29. その他 記入欄							
車両系建設機械：36. その他 記入欄			発生状況：																
2																			
	災害分類：90. その他 記入欄			作業分類：13. その他 記入欄			職種分類：26. その他 記入欄		壁転落：19. その他 記入欄			切れ・こすれ：29. その他 記入欄							
車両系建設機械：36. その他 記入欄			発生状況：																
3																			
	災害分類：90. その他 記入欄			作業分類：13. その他 記入欄			職種分類：26. その他 記入欄		壁転落：19. その他 記入欄			切れ・こすれ：29. その他 記入欄							
車両系建設機械：36. その他 記入欄			発生状況：																
4																			
	災害分類：90. その他 記入欄			作業分類：13. その他 記入欄			職種分類：26. その他 記入欄		壁転落：19. その他 記入欄			切れ・こすれ：29. その他 記入欄							
車両系建設機械：36. その他 記入欄			発生状況：																
5																			
	災害分類：90. その他 記入欄			作業分類：13. その他 記入欄			職種分類：26. その他 記入欄		壁転落：19. その他 記入欄			切れ・こすれ：29. その他 記入欄							
車両系建設機械：36. その他 記入欄			発生状況：																

※記入例

No	災害発生日時			被災者 区分	年 令	性 別	作業 分類	職種 分類	災害 分類	工法 区分	工事 種別	休業日数別							
	月・日	曜日	時刻									1～3	4～7	8～30	31～90	91～	死亡		
記入例 ①	6・19	木	16:00	1	45	1	6	4	13	イ	2		○						
	災害分類：90. その他 記入欄			作業分類：13. その他 記入欄			職種分類：26. その他 記入欄		壁転落：19. その他 記入欄			切れ・こすれ：29. その他 記入欄							
車両系建設機械：36. その他 記入欄			発生状況：外壁張替え作業中に足をすべらせて2階作業床から転落。																
記入例 ②	7・25	金	10:30	1	32	1	1	1	80	ハ	3		○						
	災害分類：90. その他 記入欄 プライヤーで指を潰す。			作業分類：13. その他 記入欄			職種分類：26. その他 記入欄		壁転落：19. その他 記入欄			切れ・こすれ：29. その他 記入欄							
車両系建設機械：36. その他 記入欄			発生状況：鉄板をプライヤーではさんで引きはがそうとし、はさむ時に指を潰してしまった。																

令和4年1月～令和4年12月分調査 労働災害分類番号一覧表

被災者区分	1. 労働者（日本人）	2. 労働者（外国人）	3. 中小事業主	4. 一人親方	性別	1. 男	2. 女
-------	-------------	-------------	----------	---------	----	------	------

作業分類	1. 解体	2. 基礎	3. 足場	4. 建方	5. 屋根	6. 外部造作	7. 内部造作
	8. 外装	9. 内装	10. 設備	11. 外構	12. 加工場	13. その他（作業を記入）	

職種分類	1. 解体	2. トビ足場	3. 基礎		4. 大工	5. 防蟻	6. 板金	7. スレート
	8. 瓦	9. 防水	10. コーキング		11. 左官	12. サイディング		13. タイル
	14. 塗装	15. クロス	16. 建具		17. タタミ	18. 電気	19. 給排水	20. ガス
	21. 空調	22. 造園	23. 現場監督		24. 納材	25. 産廃	26. その他（職種を記入）	

災害分類 (型・起因)	墜転落	11. 屋根	12. 梁		13. 足場	14. 開口部	15. ハシゴ	16. 脚立
		17. 脚立足場	18. 車荷台		19. その他（記入してください）			
	切れ・こすれ	21. 丸ノコ	22. 釘打機		23. 金槌	24. ノミ	25. 木材加工機	26. パール
		27. カッター	28. グラインダー		29. その他（記入してください）			
	車両系建設機械	30. クレーン	31. ドラグショベル(ユンボ)			32. ハンドガイドローラー		33. ランマー
		34. ユニック車	35. トラック		36. その他（機械名を記入してください）			
	40. 激突							
	50. 激突され							
	60. 飛来落下							
	70. 転倒							
80. 熱中症								
90. その他（型・起因を記入してください。表現は用語等を気にせずに記入して下さってかまいません。）								

工法区分	イ. 木造在来軸組	ロ. ツーバイフォー	ハ. 木質プレハブ	ニ. 鉄骨在来
	ホ. 鉄骨プレハブ	ヘ. コンクリート在来	ト. コンクリートプレハブ	チ. その他（混構造等）

* 型式適合認定工法以外は、イ. 木造在来軸組 ロ. ツーバイフォー ニ. 鉄骨在来 ヘ. コンクリート在来 チ. その他（混構造等）の中から選択してください。

工事種別	1. 新築	2. 増改築・リフォーム	3. 解体
------	-------	--------------	-------